



MFX-2875

取扱説明書 プリンター編



第 1 章 ご使用の前に

1

第 2 章 Windows 環境からプリントする

2

第 3 章 Macintosh 環境からプリントする

3

第 4 章 操作パネルで操作する

4

第 5 章 こんなときには

5

目次

本書のみかた.....	iv
表示について.....	iv
キーの表記について.....	v
画面について.....	v
操作手順について.....	vi

第 1 章 ご使用の前に

環境について.....	1-2
システム要件.....	1-2
各オペレーティングシステムの対応条件.....	1-3
ドライバーとユーティリティーのご紹介.....	1-4
Windows 環境にインストールする.....	1-6
ネットワーク接続する場合.....	1-6
ユーザー認証を設定する.....	1-8
IPP でプリンタードライバーを利用する場合.....	1-9
ローカル接続する場合.....	1-11
共有プリンターをインストールする.....	1-14
カセットのタイプを設定する.....	1-16
ファクスリプライをインストールする.....	1-17
Mac OS X にインストールする.....	1-18
ネットワークプリンターをインストールする.....	1-18
ローカルプリンターをインストールする.....	1-20
共有プリンターをインストールする.....	1-21

第 2 章 Windows 環境からプリントする

基本的なプリントのしかた.....	2-2
プリント中止のしかた.....	2-3
コンピュータ側で中止する.....	2-3
操作パネルで中止する.....	2-3
いろいろなプリントのしかた.....	2-4
いろいろなプリントのご紹介.....	2-4
詳細画面について.....	2-6
はがきや封筒などいろいろな用紙にプリントする.....	2-14
用紙の両面にプリントする.....	2-17
1 枚の用紙にまとめてプリントする (ページ集約).....	2-18
拡大・縮小してプリントする.....	2-19
余白を付けてプリントする (とじ位置).....	2-22
仕分けしてプリントする.....	2-24
小冊子になるようにプリントする (小冊子印刷).....	2-26
他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント).....	2-27
印刷品質を変更する.....	2-29
スタンプをプリントする.....	2-33

PDF ダイレクトプリント	2-36
ダイレクトプリントのしかた	2-36
ダイレクトプリントの設定を変更する	2-37

第 3 章 Macintosh 環境からプリントする

基本的なプリントのしかた	3-2
プリント中止のしかた	3-3
コンピューター側で中止する	3-3
操作パネルで中止する	3-4
いろいろなプリントのしかた	3-5
いろいろなプリントのご紹介	3-5
詳細画面について	3-7
いろいろな用紙にプリントする	3-11
用紙の両面にプリントする	3-13
1 枚の用紙にまとめてプリントする (ページ集約)	3-14
拡大・縮小してプリントする	3-15
余白を付けてプリントする (とじ位置)	3-17
仕分けしてプリントする	3-19
他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)	3-21
印刷品質を変更する	3-23
スタンプをプリントする	3-26

第 4 章 操作パネルで操作する

いろいろなプリントのしかた	4-2
他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)	4-2
Information server に保存したデータをプリントする (プリント ls ドキュメント) ..	4-3
共有フォルダーのデータをプリントする (プリントオンデマンド)	4-5
USB メモリーの文書をプリントする (USB メモリー to プリント)	4-7
データの自動削除時間を設定する	4-9
プリンターコントローラーの設定をする	4-11
プリンターコントローラーの設定をする	4-11
プリンターコントローラー設定一覧	4-12

第 5 章 こんなときには

困ったときには	5-2
インストールできない	5-2
プリントできない	5-3
ドライバーまたはユーティリティーを削除する	5-5
Windows の場合	5-5
Mac の場合	5-6

本書のみかた

表示について

本書では、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

！お願い 誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

📄 補足 操作の参考情報や補足説明が書かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電などの外部要因によって、通信、記録などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

キーの表記について

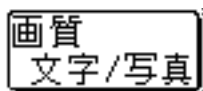
本書では、操作するキーを以下のように表しています。
〈 〉 内には操作パネル上のキー名称が、[] 内にはタッチパネル上のキー名称が示されています。

■ 操作パネル上のキー

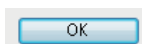


→ 〈通信確認・ファクス中止〉 のように 〈 〉 で囲んでいます。

■ タッチパネルのボタン、コンピューター画面やダイアログのボタン



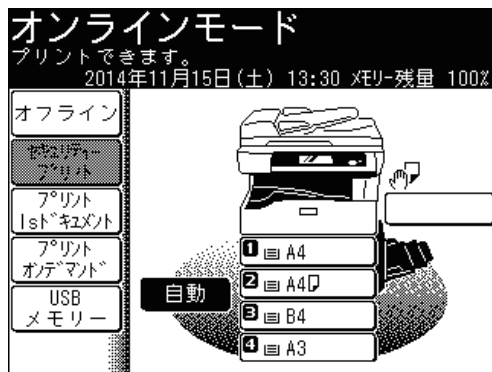
→ [画質] のように [] で囲んでいます。



→ [OK] のように [] で囲んでいます。

画面について

本書では、特に断りがない限り 4 段タイプの画面を使用しています。オプションの装着によっては、画面が異なる場合があります。



操作手順について

操作中の説明では、[前へ]、[次へ] など次の画面を表示する手順を省いています。お使用のタイプやオプションの装着によっては、記載されたメニューが見当たらないことがあります。

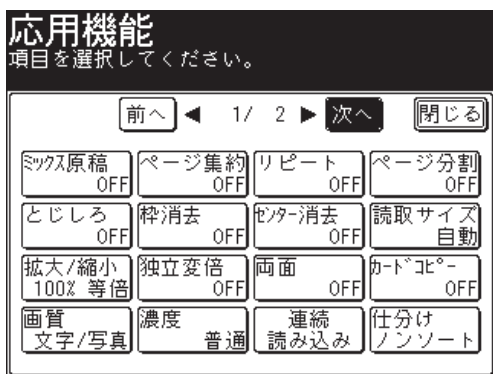
たとえば、以下のように手順を説明しています：

- 1 [応用機能] を押します。
- 2 [小冊子] を押します。

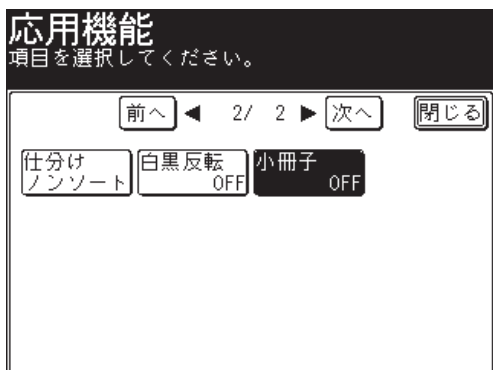


実際には、[前へ]、[次へ]、[▲]、[▼]、などを押して、次の画面にメニューがあるか確認してください：

- 1 [応用機能] を押します。
- 2 [次へ] を押します。



- 3 [小冊子] を押します。



第 1 章

ご使用の前に

環境について	1-2
システム要件	1-2
各オペレーティングシステムの対応条件	1-3
ドライバーとユーティリティーのご紹介	1-4
Windows 環境にインストールする	1-6
ネットワーク接続する場合	1-6
ユーザー認証を設定する	1-8
IPP でプリンタードライバーを利用する場合	1-9
ローカル接続する場合	1-11
共有プリンターをインストールする	1-14
カセットのタイプを設定する	1-16
ファクスリプライをインストールする	1-17
Mac OS X にインストールする	1-18
ネットワークプリンターをインストールする	1-18
ローカルプリンターをインストールする	1-20
共有プリンターをインストールする	1-21

環境について

システム要件

本製品をプリンターやスキャナーとして使うためには、以下の仕様を満たしたコンピュータをお使いください。

項目	仕様
コンピュータ	下記のオペレーティングシステムが動作するコンピュータ
オペレーティングシステム ²⁾	Windows® 8 (x86/x64) Windows® 8 Pro (x86/x64) Windows® 8 Enterprise (x86/x64) Windows® 7 Enterprise (x86/x64) Windows® 7 Professional (x86/x64) Windows® 7 Ultimate (x86/x64) Windows® 7 Home Premium (x86/x64) Windows Server® 2012 R2 Datacenter ¹⁾ Windows Server® 2012 R2 Standard ¹⁾ Windows Server® 2012 R2 Essentials ¹⁾ Windows Server® 2012 R2 Foundation ¹⁾ Windows Server® 2012 Datacenter ¹⁾ Windows Server® 2012 Standard ¹⁾ Windows Server® 2012 Essentials ¹⁾ Windows Server® 2012 Foundation ¹⁾ Windows Server® 2008 R2 Standard (x64) ¹⁾ Windows Server® 2008 R2 Enterprise (x64) ¹⁾ Windows Server® 2008 R2 Datacenter (x64) ¹⁾ Windows Server® 2008 Datacenter (x86/x64) ¹⁾ Windows Server® 2008 Enterprise (x86/x64) ¹⁾ Windows Server® 2008 Standard (x86/x64) ¹⁾ Windows Server® 2003 Datacenter x64 Edition Windows Server® 2003 Datacenter Edition Windows Server® 2003 Enterprise x64 Edition Windows Server® 2003 Enterprise Edition Windows Server® 2003 Standard x64 Edition Windows Server® 2003 Standard Edition Windows Vista® Enterprise (x86/x64) Windows Vista® Business (x86/x64) Windows Vista® Ultimate (x86/x64) Windows Vista® Home Premium (x86/x64) Windows Vista® Home Basic (x86/x64) Windows® XP Professional x64 Edition Windows® XP Professional Windows® XP Home Edition Mac OS X 10.10 Mac OS X 10.9 Mac OS X 10.8 Mac OS X 10.7 Mac OS X 10.6 Mac OS X 10.5 ³⁾ Mac OS X 10.4 ³⁾ Mac OS X 10.3 ³⁾ Mac OS X 10.2 ³⁾
ハードディスクの空き容量	10MB 以上の空き容量
物理インターフェイス	USB2.0 (Hi-Speed)、Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX ¹⁾
対応プロトコル ¹⁾	TCP/IP (LPR : IPv4、Port9100、IPP : IPv6/IPv4、IPDS)

ブラウザ ^{*1,2}	Microsoft Internet Explorer 6 Microsoft Internet Explorer 7 Microsoft Internet Explorer 8 Microsoft Internet Explorer 9 Microsoft Internet Explorer 10 Microsoft Internet Explorer 11 Mozilla Firefox 2.0 以降 いずれも、JavaScript と Cookie の設定は有効にする必要があります。
----------------------	--

- * 1 本製品をネットワーク接続でお使いになるとき
- * 2 2014年11月現在 最新の情報は弊社ホームページをご確認ください。(→5-2 ページ)
- * 3 セキュリティープリントは対応していません。

各オペレーティングシステムの対応条件

各オペレーティングシステムの対応状況^{*3}は、下記のとおりです：

	Windows 8 Windows 7 Windows Vista	Windows XP	Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2003	Mac OS X
プリンター (Muratec MFX-2875)	✓	✓	✓	
プリンター (PCL 5e, PCL 6) ^{*1}	✓	✓	✓	
プリンター (PostScript 3) ^{*1}	✓	✓	✓	✓
PDF ダイレクトプリント ^{*1}	✓	✓	✓	
PC ファクス (Muratec Fax)	✓	✓	✓	
TWAIN 対応ドライバー	✓	✓	✓ ^{*2}	
インフォモニター 2	✓	✓	✓	
スキャン to プリントモニター	✓	✓	✓	
カバーページエディター	✓	✓	✓	
TIFF メーカー	✓	✓	✓	
ファクスリプライ ^{*1}	✓	✓		

✓：対応している 空欄：対応していない

- * 1 オプション品です。
- * 2 Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2008 は、ネットワークのみの対応です。
- * 3 2014年11月現在 最新の情報は弊社ホームページをご確認ください。(→5-2 ページ)

ドライバーとユーティリティーのご紹介

本製品では、以下のプリンタードライバーやユーティリティーをお使いいただけます。

ドライバー名、またはユーティリティー名	説明
プリンター (Muratec MF-X2875)	本製品をプリンターとしてお使いいただけます。
プリンター (PCL 5e、PCL 6) ^{*1}	ページ記述言語 (PDL) の PCL5e、PCL6 に対応したプリンターとして、幅広いアプリケーションソフトからのプリントができます。
プリンター (PostScript 3) ^{*2}	ページ記述言語 (PDL) の PostScript 3 に対応したプリンターとしてご使用いただけます。Mac OS からのプリントができます。
PDF ダイレクトプリント ^{*2}	PDF ファイルをアプリケーションソフトから開けずに、プリンターアイコンにドラッグアンドドロップすることで、プリントできます。
PC ファクス (Muratec Fax)	アプリケーションソフトで作成したファイルを、プリントアウトせずにコンピューターから操作して、ファクスとして送付できます。 使いかたについて、『スキャナー・ファクス編 第3章』の「コンピューターからファクスを送信する」を参照してください。
TWAIN 対応ドライバー	本製品でスキャンした画像を、TWAIN に対応しているアプリケーションソフトに読み込めます。 使いかたについて、『スキャナー・ファクス編 第2章』の「TWAIN ボックスを使って原稿を読み込む」を参照してください。
インフォモニター 2	Information server の新着文書や、ファクスおよび電子メールの送信結果などのイベントを履歴として管理できるユーティリティーソフトです。 使いかたについて、『Information server 編 第4章』の「発生したイベントを管理する (インフォモニター 2)」を参照してください。
スキャン to プリントモニター	本製品でスキャンしたカラー原稿を、お使いのネットワーク上にあるカラープリンターからプリントするときに必要なユーティリティーソフトです。 使いかたについて、『スキャナー・ファクス編 第1章』の「基本のスキャン」を参照してください。
カバーページエディター	ファクス送信するときに文書の最初に付ける送付案内書 (カバーページ) を作成できます。 作成した送付案内書には、日付や発信元を自動的に挿入したり、宛先表に登録してある情報 (受信先や送信元の名前、会社名、部署名など) を挿入したりできます。これらの情報は指定する宛先ごとに自動的に挿入されますので、宛先ごとに送付案内書を作成する必要がありません。 使いかたについて、『Information server 編 第4章』の「送付案内書を作成する (カバーページエディター)」を参照してください。
TIFF メーカー	アプリケーションソフトで作成したファイルと、画像ファイル (TIFF ファイル) に変換できます。作成した TIFF ファイルは、PC ファクスやインターネットファクスをするときに、添付ファイルとして送付できます。 使いかたについて、『スキャナー・ファクス編 第4章』の「インターネットファクス用の TIFF ファイルを作成する」を参照してください。

ドライバー名、またはユーティリティー名	説明
ファクスリプライ ^{*3}	<p>Information server で受信したファクス原稿やスキャン原稿などを印刷することなく、コメントや手書きのオブジェクトを追加し、ファクス送信、印刷、保存できるソフトウェアです。たとえば、コンピューターで受信を確認して、そのまま返信を書き込み、また Information server を使って送信できるので、プリントする手間や用紙代が省けます。</p> <p>使いかたについて、『Information server 編 第4章』の「文書に文字や図形を書き込む（ファクスリプライ）」を参照してください。</p> <p>ファクスリプライのインストールについては、「ファクスリプライをインストールする」を参照してください。(→ 1-17 ページ)</p>

- * 1 オプションのプリンターコントローラーキット (OP-700) が必要です。
- * 2 オプションのプリンターコントローラーキット (OP-700) と PS3 拡張キットが必要です。
- * 3 ペーパーレス Fax 拡張オプションが必要です。

Windows 環境にインストールする

ここでは、Windows オペレーティングシステムにドライバーをインストールする方法を説明します。本製品をネットワークに接続してお使いになるときは、「システム要件」をお読みください。本製品とコンピューターを USB ケーブルで接続してお使いになるときは、「ローカル接続する場合」をお読みください。

本製品をプリントサーバーに接続して、ネットワーク共有プリンターとしてお使いになるときは、「共有プリンターをインストールする」をお読みください。

インストールの方法について

インストール方法には、2 種類あります。

標準インストール（推奨）：標準で使用するドライバーを自動的にコンピューターにインストールします。

カスタムインストール： 必要なドライバーあるいはユーティリティを選択して、手動でコンピューターにインストールします。

ネットワーク接続する場合

ドライバーをインストールするときに、以下のことを確認してください。

- 本製品がネットワークに接続されている。
- コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンしている。（ドライバーをインストールするには、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンする必要があります。）

補足

- インストール中に以下のメッセージが表示されることありますが、機能上問題はありません。インストール操作を続けてください。
 - ◆ Windows セキュリティ
 - ◆ ソフトウェアのインストール
 - ◆ デジタル署名が見つかりませんでした
- インストール操作を続けるには、以下のボタンをクリックしてください。
 - ◆ このドライバーソフトウェアをインストールします
 - ◆ 続行
 - ◆ はい

1 セットアップディスクを、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

- インストーラーが自動的に起動します。
- 自動再生の画面が表示されたときは、[InstMenu.exe の実行] をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[許可]（または [はい]）をクリックします。

2 [ドライバー インストール] をクリックします。

- 3 使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は **[同意する]** をクリックします。
 - [同意しない] をクリックすると、手順 2 の画面に戻ります。
 - [<戻る] をクリックすると、手順 2 の画面に戻ります。
- 4 「ネットワーク (有線 LAN 接続)」を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 5 「インストール方法」を選択し、**[次へ]** をクリックします。
「標準インストール (推奨)」を選択したときは、手順 10 へお進みください。
- 6 インストールするドライバーにチェックを入れ、**[次へ]** をクリックします。
- 7 インストールするユーティリティーにチェックを入れ、**[次へ]** をクリックします。
- 8 ユーティリティーのインストール場所を指定し、**[次へ]** をクリックします。
[参照] をクリックすると、「フォルダーの参照」ダイアログが表示され、インストールの場所を指定できます。
- 9 プログラムフォルダーを選択し、**[次へ]** をクリックします。
ユーティリティーを登録するプログラムフォルダーを、選択します。プログラムフォルダーの名前を変えるときは、フォルダー名を入力します。
- 10 自動起動させるユーティリティーにチェックを入れ、**[次へ]** をクリックします。
ここで登録したユーティリティーは、コンピューター起動時に自動的に起動します。
- 11 ショートカットを作成するユーティリティーにチェックを入れ、**[次へ]** をクリックします。
- 12 接続する本体の IP アドレスを入力し、**[次へ]** をクリックします。
 - “0.0.0.0” の入力ではできません。
 - [検索] をクリックするとネットワーク上の機器が表示され、該当する機器を選択できます。
 - 「Information server へのショートカットを作成」にチェックを入れると、デスクトップに Information server へのショートカットを作成します。
- 13 **[インストール]** をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、インストールを中止します。
- 14 「インストールが完了しました。」と表示されたら、**[完了]** をクリックします。
- 15 セットアップディスクを、CD-ROM ドライブから取り出します。
- 16 引き続き必要に応じて、ユーザー認証、セキュリティープリントのテスト、インフォモニター 2 の設定をしてください。
 - ユーザー認証の設定とセキュリティープリントのテストについては、「ユーザー認証を設定する」を参照してください。(→ 1-8 ページ)
 - インフォモニター 2 の設定については、『Information server 編 第 4 章』の「発生したイベントを管理する (インフォモニター 2)」を参照してください。

補足

4 段タイプの機器をお使いの場合は、カセットのタイプを設定してください。(→ 1-16 ページ)

ユーザー認証を設定する

プリンタードライバー、またはファクスドライバーをインストールしたときに、続けてユーザー認証を設定できます。以下の場合、ユーザー認証の設定が必要になります。

- ユーザーポリシーの設定で、プリンターを使用するときにユーザー権限が必要なとき
- ユーザー使用状況管理で、プリント枚数の料金が管理されているとき
- セキュリティープリントするとき
- オプションのアーカイブ拡張キットが有効になっているとき

また、ユーザー認証を設定しておく、PC-FAX するときにログインする手間が省けて便利です。

「ネットワーク接続する場合」の手順 16 からの続きです。(→ 1-7 ページ)

- 1** [ユーザー認証] をクリックします。
- 2** ユーザー名を選択し、パスワードを入力します。
- 3** [OK] を押します。
操作を終了するときは、[閉じる] をクリックします。
- 4** セキュリティープリントのテストをする場合は、[セキュリティープリントテスト印刷] をクリックします。
セキュリティープリントの手順で、テストページのプリントができます。
- 5** 「他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)」の手順に従って、セキュリティープリントのテストを行ってください。(→ 4-2 ページ)
操作を終了するときは、[閉じる] をクリックします。

IPP でプリンタードライバーを利用する場合

IPP でプリンターを利用する場合は、プリンターの追加ウィザードを利用してインストールできます。

ここでは、Windows 7 でのインストールのしかたを説明します。OS のバージョンによっては若干手順が異なります。

補足

- IPP でプリンタードライバーを利用する場合は、事前に HTTP プロトコルが使用できるネットワーク環境であることを確認してください。
- HTTP ポート番号を初期値の「80」から変更している場合は、インストール時の URL を以下のように入力してください。
例) `http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/ipp` (HTTP ポート番号を「631」に変更した場合)
- プリンター名を指定する場合は、事前に DNS が使用できるネットワーク環境であることを確認してください。
- プリンタードライバー (Muratec MFX-2875) をご利用の場合、拡大 / 縮小、ページ集約、小冊子機能は使用できません。
- IPP でプリンタードライバーを利用する場合は、あらかじめマシンポリシーの設定で IPP でのプリントを有効にしてください。詳細は、『Information server 編 第 3 章』の「マシンポリシーを設定する」を参照してください。

1 セットアップディスクを、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

2 [スタート] → 「コントロールパネル」 → 「ハードウェアとサウンド」 → 「プリンターの追加」の順にクリックします。

この手順は、コントロールパネルの表示方法が「カテゴリ」に設定されているときの手順です。「カテゴリ」以外に設定されているときは、[スタート] → 「コントロールパネル」 → 「デバイスとプリンター」 → 「プリンターの追加」をクリックしてください。

3 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します」をクリックします。

4 「探しているプリンターはこの一覧にありません」をクリックします。

5 「共有プリンターを名前を選択する」を選択し、プリンター名あるいは IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

IP アドレスを入力する場合は、`http://xxx.xxx.xxx.xxx/ipp` のように入力します。

6 [ディスク使用] をクリックします。

7 [参照] をクリックしてインストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。

- GDI driver の場合：
`¥Package¥JPN¥M2875¥GDI¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver`
- PCL 5e driver の場合：
`¥Package¥JPN¥M2875¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥5e¥WindowsDriver`
- PCL 6 driver の場合：
`¥Package¥JPN¥M2875¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥6¥WindowsDriver`
- PostScript 3 driver の場合：
`¥Package¥JPN¥M2875¥PS3¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver`

- 8 [次へ] をクリックし、画面の指示に従って操作します。
署名に関するメッセージが表示された場合は、[続行] をクリックしてください。
- 9 [完了] をクリックします。
- 10 インストール終了後、インストールしたプリンタードライバー名が「デバイスとプリンター」に表示されていることを確認します。
- 11 セットアップディスクを CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- 4 段タイプの機器をお使いの場合は、カセットのタイプを設定してください。
(→ 1-16 ページ)
- ご利用の OS が Windows Server 2012 または Windows Server 2012 R2 の場合は、プリンタードライバーのインストールを行う前に、OS 側で以下の設定を行う必要があります。
 - 1 「スタート画面」から [サーバーマネージャー] をクリックします。
 - 2 「②役割と機能の追加」をクリックします。
 - 3 「機能の選択」が表示されるまで、[次へ] をクリックします。
 - 4 「機能」から [インターネット印刷クライアント] をチェックし、[次へ] をクリックします。
 - 5 [インストール] をクリックします。
 - 6 インストールが完了したら [閉じる] をクリックします。
 - 7 コンピューターを再起動します。
- ご利用の OS が Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 の場合は、プリンタードライバーのインストールを行う前に、OS 側で以下の設定を行う必要があります。
 - 1 [スタート] をクリックします。
 - 2 [管理ツール] から [サーバーマネージャ] を選択します。
ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、[続行] または [はい] をクリックします。
 - 3 サーバーマネージャー画面の [機能の概要] から、[機能の追加] を選択します。
 - 4 [インターネット印刷クライアント] をチェックして、機能をインストールします。
 - 5 コンピューターを再起動します。

ローカル接続する場合

ドライバーをインストールするときは、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンしていることを確認してください。(ドライバーをインストールするには、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンする必要があります。)

補足

- インストール中に以下のメッセージが表示されることがありますが、機能上問題はありません。インストール操作を続けてください。
 - ◆ Windows セキュリティ
 - ◆ ソフトウェアのインストール
 - ◆ デジタル署名が見つかりませんでした
- インストール操作を続けるには、以下のボタンをクリックしてください。
 - ◆ このドライバーソフトウェアをインストールします
 - ◆ 続行
 - ◆ はい
- Windows 8、Windows7、Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2012 をお使いのときは、まず「デバイスのインストール設定を変更する」を参照してください。(→ 1-12 ページ)

1 セットアップディスクを、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

- インストーラーが自動的に起動します。
- 自動再生の画面が表示されたときは、[InstMenu.exe の実行] をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[許可] (または [はい]) をクリックします。

2 [ドライバー インストール] をクリックします。

3 使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は [同意する] をクリックします。

- [同意しない] をクリックすると、手順 2 の画面に戻ります。
- [<戻る] をクリックすると、インストールのトップ画面に戻ります。

4 「ローカル (USB 接続)」を選択し、[次へ] をクリックします。

- [<戻る] をクリックすると、「使用許諾契約」画面に戻ります。
- [キャンセル] をクリックすると、インストールを中止します。

5 「インストール方法」を選択し、[次へ] をクリックします。

「標準インストール (推奨)」を選択したときは、手順 7 へお進みください。

6 インストールするドライバーにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

7 [インストール] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、インストールを中止します。

- 8 以下の画面が表示されたら、USB ケーブルで本製品とコンピューターを接続します。



- 9 「インストールが完了しました。」と表示されたら、[完了] をクリックします。

- 10 セットアップディスクを、CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

4 段タイプの機器をお使いの場合は、カセットのタイプを設定してください。(→1-16 ページ)

■ デバイスのインストール設定を変更する

Windows 8、Windows 7、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2008 R2 または Windows Server 2008 で USB 接続のインストールをする場合、ドライバーをインストールする前に以下の設定にしておくことで、インストールにかかる時間を短くすることができます。

インストールが終わったら、デバイスのインストール設定を元に戻してください。

● Windows 8 または Windows Server 2012/2012 R2 の場合

- 1 「デスクトップ」画面にします。「エクスプローラ」を起動します。
- 2 「コンピューター」を右クリックして [プロパティ] をクリックします。「システム」が開きます。
- 3 ナビゲーションウィンドウにある「システムの詳細設定」をクリックします。
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、[デバイスのインストール設定] をクリックします。
- 5 「いいえ、実行方法を選択します」をクリックし、「Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない」をクリックします。
- 6 [変更を保存] ボタンをクリックします。「システムのプロパティ」を閉じます。
- 7 インストールの終了後に、設定を元に戻します。

● Windows 7 または Windows Server 2008/2008 R2 の場合

- 1 [スタート]メニューから「コンピューター」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 2 「システムの詳細設定」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、[デバイスのインストール設定] をクリックします。
- 4 「いいえ、実行方法を選択します」を選択し、「Windows Update からドライバー ソフトウェアをインストールしない」を選択します。
- 5 [変更の保存] をクリックして設定を保存します。
- 6 インストールの終了後に、設定を元に戻します。

共有プリンターをインストールする

Windows コンピューターをプリントサーバーとし、本製品をネットワーク共有プリンターとして接続してお使いになるときは、プリントサーバーでプリンターの共有設定を行い、クライアント側のコンピューターでドライバーをインストールします。プリントサーバーについての詳細設定は、お使いの Windows の取扱説明書やオンラインヘルプなどをご覧ください。

ここで説明している「プリントサーバー」とは、本製品に直接接続された Windows コンピューターのことです。また、「クライアント側のコンピューター」とは、プリントサーバーと同じネットワークに接続されているほかの Windows コンピューターのことです。クライアント側のコンピューターでは、プリントサーバーにインストールされているプリンタードライバーをインストールします。

■ プリントサーバーで共有を設定する

以下の説明画面は、Windows Sever 2008 のものです。お使いの Windows のバージョンによって画面は異なります。

- 1 プリントサーバーにドライバーをインストールします。
- 2 本製品のプリンターアイコンを右クリックして、「共有」をクリックします。
- 3 [共有オプションの変更] をクリックします。
- 4 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 5 「このプリンタを共有する」にチェックを入れます。
必要に応じて共有名を変更します。
- 6 画面の指示に従ってドライバーをインストールします。
- 7 [OK] をクリックします。

4段タイプの機器をお使いの場合は、カセットのタイプを設定してください。(→1-16ページ)

補足

クライアント側のコンピューターがプリントサーバーとは違うバージョンの Windows を実行している場合は、[追加ドライバ] をクリックして、追加ドライバーをインストールします。

1. [追加ドライバ (D)] をクリックする。
2. 追加ドライバーをインストールするシステムにチェックマークを入れ、[OK] をクリックします。
3. 「セットアップディスク」を CD-ROM ドライブに入れ、以下のフォルダーを指定します。
 - GDI driver の場合：
¥Package¥JPN¥M2875¥GDI¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver
 - PCL 5e driver の場合：
¥Package¥JPN¥M2875¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥5e¥WindowsDriver
 - PCL 6 driver の場合：
¥Package¥JPN¥M2875¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥6¥WindowsDriver
 - PostScript 3 driver の場合：
¥Package¥JPN¥M2875¥PS3¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver

■ クライアント側のコンピューターでインストールする

プリントサーバー名とプリンターの共有名称をネットワーク管理者に確認してください。

- 1** ネットワークコンピューターの画面で、プリンターをダブルクリックします。
- 2** 共有プリンターをダブルクリックします。
自動的にプリンタードライバがインストールされます。

カセットのタイプを設定する

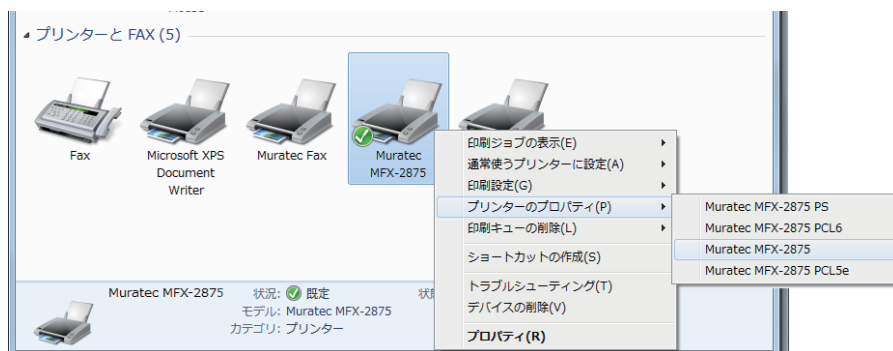
4 段タイプの機器をお使いの場合は、装置オプションを設定してください。
ここでは、Windows 7 での設定のしかたを説明します。OS のバージョンによっては若干手順が異なります。

1 [スタート]メニューから「コントロールパネル」を選択します。

2 [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

この手順は、コントロールパネルの表示方法が「カテゴリ」に設定されているときの手順です。「カテゴリ」以外に設定されているときは、[スタート] → 「コントロールパネル」 → 「デバイスとプリンター」をクリックしてください。

3 プリンターを右クリックして、「プリンターのプロパティ」をクリックします。



プリンターが複数インストールされているときは、「プリンターのプロパティ」をクリックして、目的のドライバを選択します。

4 [装着オプション] タブをクリックし、「カセット 4」のチェックボックスにチェックを入れます。



5 [OK] をクリックします。

ファクスリプライをインストールする

ファクスリプライをインストールするときに、以下のことを確認してください。

- ファクスリプライを使用するには、ペーパーレス Fax 拡張オプションが必要です。
- 本製品がネットワークに接続されている。
- コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンしている。(ドライバーをインストールするには、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンする必要があります。)

ここでは、Windows 7 でのインストールのしかたを説明します。OS のバージョンによっては若干手順が異なります。

- 1** セットアップディスクを、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。
 - インストーラーが自動的に起動します。
 - 自動再生の画面が表示されたときは、[InstMenu.exe の実行] をクリックします。
 - 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[許可] (または [はい]) をクリックします。
- 2** [ファクスリプライ インストール] をクリックします。
- 3** インストーラーの画面が開くので、[次へ] をクリックします。
- 4** 使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は [使用許諾契約の条項に同意します] のボタンにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。
 - [印刷] をクリックすると、使用許諾契約の内容をプリントできます。
 - [キャンセル] をクリックすると、インストールを終了手順に移ります。画面の指示に従って、インストールを終了してください。
 - [<戻る] をクリックすると、インストールのトップ画面に戻ります。
- 5** インストール場所を指定し、[次へ] をクリックします。

[変更] をクリックすると、「インストール先フォルダの変更」ダイアログが表示され、インストールの場所を指定できます。
- 6** [インストール] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、インストールを中止します。
- 7** 「ウィザードを完了しました」と表示されたら、[完了] をクリックします。
- 8** セットアップディスクを、CD-ROM ドライブから取り出します。

Mac OS X にインストールする

Macintosh では、インストーラーを使用して PPD ファイル（プリンター記述ファイル）をインストールします。

インストール方法は、OS のバージョンによって若干手順が異なります。

ネットワークプリンターをインストールする

■ Mac OS X 10.4 ～ 10.10 の場合

- 1 セットアップディスクを、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 CD-ROM をダブルクリックで開き、続けて該当する OS のバージョン名のフォルダーを開きます。
- 3 インストーラー（Muratec MFX-2875 PS.pkg）を起動します。
- 4 インストーラーの指示に従って操作します。
- 5 インストール終了後、コンピューターを再起動します。
- 6 再起動後、セットアップディスクをコンピューターの CD-ROM ドライブから取り出します。
- 7 メニューから「システム環境設定」を選択します。
- 8 「プリントとファクス」または「プリンタとスキャナ」をクリックします。
- 9 [+] をクリックします。
- 10 「IP」（10.4 の場合は「IP プリンタ」）をクリックし、必要な項目を入力します。
 - 「プロトコル」欄から、「LPD（Line Printer Daemon）」を選択します。
 - 「アドレス」欄に接続プリンターの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
 - 必要に応じて「キュー」欄にプリントジョブのリストに表示される名前を入力します。
 - 「名前」欄に接続するプリンターの名前を入力します。
 - 必要に応じて「場所」欄にプリンターの設置されている場所を入力します。

11 「ドライバ」(10.4 の場合は「使用するドライバ」) 欄に「Muratec MFX-2875 PS」を選択し、[追加] をクリックします。

「ドライバ」(10.4 の場合は「使用するドライバ」) 欄に「Muratec MFX-2875 PS」が表示されない場合は、以下の方法にてドライバーを選択します。

- 10.4 の場合は、「使用するドライバ」欄に「Muratec」を選択し、「機種」から「Muratec MFX-2875 PS」を選択します。
- 10.5、10.6、10.7、10.8、10.9、10.10 の場合は、「ドライバ」欄の「使用するドライバを選択」または「ソフトウェアを選択...」を選択し、ドライバーの一覧から「Muratec MFX-2875 PS」を選択します。検索欄に「Muratec」を入力するとドライバーを絞り込めます。
- 上記の方法でもドライバーが見つからないときは、「ドライバ」(10.4 の場合は「使用するドライバ」) 欄に「その他...」を選択し、[ライブラリ] - [Printers] - [PPDs] - [Contents] - [Resources] - [ja.proj] フォルダにある MuratecMFX-2875PS.ppd.gz を選択します。

12 「給紙ユニット」から、装着しているカセットを選択します。

13 [続ける] をクリックします。

- 「プリントとファクス」画面の左側にある登録プリンター一覧に設定したプリンター名が追加されます。
- [キャンセル] をクリックすると、設定がキャンセルされ、オプションユニット選択画面が閉じられます。

14 [x] をクリックして、「プリントとファクス」画面を閉じます。

■ Mac OS X10.2 と Mac OS X 10.3 の場合

- 1 セットアップディスクを、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 CD-ROM をダブルクリックで開き、続けて該当する OS のバージョン名のフォルダを開きます。
- 3 インストーラー (Muratec MFX-2875 PS.pkg) を起動します。
- 4 インストーラーの指示に従って操作します。
- 5 インストール終了後、コンピューターを再起動します。
- 6 再起動後、セットアップディスクをコンピューターの CD-ROM ドライブから取り出します。
- 7 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択します。
10.2 の場合は、「アプリケーション」を選択して、「ユーティリティ」を選択します。
- 8 「プリンタ設定ユーティリティ」をクリックします。
10.2 の場合は、「プリントセンター」をクリックします。
- 9 「追加」をクリックします。

- 10** プリンタリストから「IP プrint」を選択し、必要な項目を入力します。
 - 10.3 の場合は、「プリンタのタイプ」欄に「LPD/LPR」を選択します。
 - 「プリンタのアドレス」欄に、接続プリンタの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
 - 10.2 の場合は、必要に応じて、「サーバ上のデフォルトのキューを使う」のチェックを外し、「キュー名」欄にプリントジョブのリストに表示される名前を入力します。
- 11** 「プリンタの機種」欄に「Muratec MFX-2875 PS」を選択し、[追加] をクリックします。

「プリンタの機種」欄に「Muratec MFX-2875 PS」が表示されない場合は、以下の方法にてドライバを選択します。

 - 「プリンタの機種」欄に「Muratec」を選択し、「機種名」から「Muratec MFX-2875 PS」を選択します。
 - 上記の方法でドライバーが見つからないときは、「プリンタの機種」欄に「その他 ...」を選択し、[ライブラリ] - [Printers] - [PPDs] - [Contents] - [Resources] - [ja.lproj] フォルダにある MuratecMFX-2875PS.ppd.gz を選択します。
- 12** 「プリンタリスト」からインストールされたプリンターを選択します。
- 13** 「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。
- 14** 「プリンタ情報」にて必要な情報を設定し、[変更を適用] をクリックします。
 - 「インストール可能なオプション」を選択します。「給紙ユニット」から、装着しているカセットを選択します。
 - 「名前と場所」を選択します。必要に応じて、プリンタの名前、プリンタの設置されている場所を入力します。
- 15** [x] をクリックして、「プリンタ情報」と「プリンタリスト」画面を閉じます。

ローカルプリンターをインストールする

- 1** セットアップディスクを、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。
- 2** CD-ROM をダブルクリックで開き、続けて該当する OS のバージョン名のフォルダを開きます
- 3** インストーラーを起動します。
- 4** インストーラーの指示に従って操作します。
- 5** インストール終了後、コンピューターを再起動します。
- 6** 再起動後、セットアップディスクをコンピューターの CD-ROM ドライブから取り出します。
- 7** コンピューターと機器を USB ケーブルで接続します。
- 8** 「プリントとファクス」、「プリンタとスキャナ」または「プリンタリスト」画面で使用するプリンターを選択します。

「プリンタリスト」画面の表示方法については、各 OS のマニュアルを参照してください。

共有プリンターをインストールする

■ プリントサーバーで共有を設定する

以下の説明は、Mac OS X 10.5 のものです。お使いの Mac OS X のバージョンによって画面は異なります。

- 1 プリントサーバーにドライバーをインストールします。
「ネットワーク接続する場合」を参照してください。
- 2 メニューから「システム環境設定」を選択します。
- 3 「プリントとファクス」または「プリンタとスキャナ」をクリックします。
Mac OS X 10.2～10.4 の場合は、[共有] をクリックします。
- 4 共有したいプリンターを選択し、「このプリンタを共有する」または「ネットワークでこのプリンタを共有」にチェックを入れます。
鍵が閉まっている場合は、鍵をクリックしてユーザー名とパスワードを入力して鍵を解除してください。
- 5 [x] をクリックします。

■ クライアント側の共有を設定する (Mac OS X 10.4～10.10)

プリンターの共有名称をネットワーク管理者に確認してください。

- 1 メニューから「システム環境設定」を選択します。
- 2 「プリントとファクス」または「プリンタとスキャナ」をクリックします。
- 3 「+」 をクリックします。
- 4 [デフォルト] をクリックします。
- 5 共有したいプリンターを選択し、[追加] をクリックします。
- 6 [x] をクリックします。

■ クライアント側の共有を設定する (Mac OS X 10.3)

プリンターの共有名称をネットワーク管理者に確認してください。

- 1 [移動] メニューから「アプリケーション」を選択します。
- 2 [ユーティリティ] をダブルクリックします。
- 3 [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。
- 4 共有したいプリンターを選択し、チェックを入れます。
- 5 [x] をクリックします。

補足

Mac OS X 10.2 では、プリントサーバー側で設定を行うだけで、クライアント側で共有プリンターを使用できます。

第2章

Windows 環境からプリントする

基本的なプリントのしかた.....	2-2
プリント中止のしかた	2-3
コンピューター側で中止する.....	2-3
操作パネルで中止する	2-3
いろいろなプリントのしかた.....	2-4
いろいろなプリントのご紹介.....	2-4
詳細画面について	2-6
はがきや封筒などいろいろな用紙にプリントする.....	2-14
用紙の両面にプリントする.....	2-17
1枚の用紙にまとめてプリントする（ページ集約）.....	2-18
拡大・縮小してプリントする.....	2-19
余白を付けてプリントする（とじ位置）.....	2-22
仕分けしてプリントする	2-24
小冊子になるようにプリントする（小冊子印刷）.....	2-26
他人に見られないようにプリントする（セキュリティープリント）.....	2-27
印刷品質を変更する.....	2-29
スタンプをプリントする	2-33
PDF ダイレクトプリント	2-36
ダイレクトプリントのしかた.....	2-36
ダイレクトプリントの設定を変更する	2-37

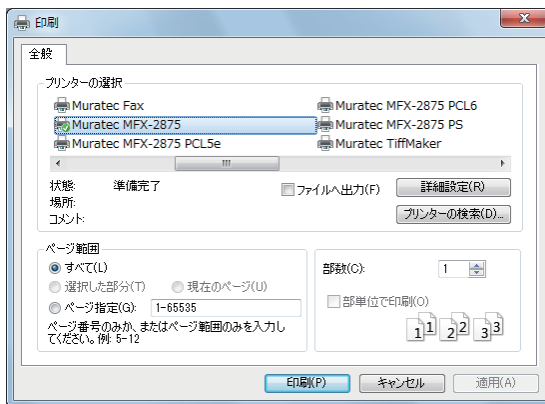
基本的なプリントのしかた

ほとんどのアプリケーションソフトウェアでは、「ファイル」メニューから「印刷」（または「プリント」）をクリックしてプリントを実行します。

補足

- 「印刷」ダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。
- メニュー名やボタンの名称は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。

- 1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で、出力したいプリンター名が選択されていることを確認します。



画面は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。

- 3 プリントする部数などを設定します。
必要に応じて [詳細設定] をクリックして、詳細を設定します。
- 4 [印刷] をクリックします。

補足

プリントは、機器が「オンラインモード」のときに実行できます。「オフラインモード」になると、プリントデータの受信を中断するためにプリントができません。オンラインとオフラインは、操作パネルで〈プリンター〉を押して、[オンライン] と [オフライン] を押すと切り替えられます。

プリント中止のしかた

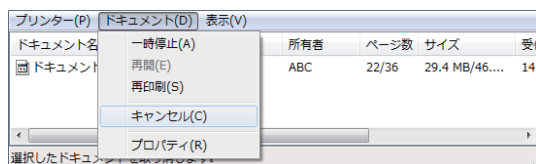
プリントを中止するには、まずコンピューター側でプリントを中止します。コンピューター側でプリントを中止できなかったときは、操作パネルでプリントを中止します。

補足

- お使いのコンピューターによって若干操作が異なります。
- ここでは Windows 7 を使って説明します。

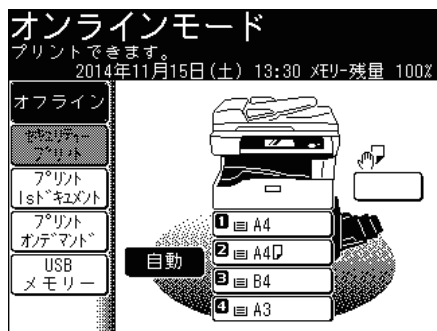
コンピューター側で中止する

- 1 [スタート] → 「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
- 2 プリンターアイコンを右クリックして、「印刷ジョブの表示」を選択します。
プリンターが複数インストールされているときは、「印刷ジョブの表示」をクリックして、目的のプリンターを選択します。
- 3 プリントを中止するドキュメントを選択し、「ドキュメント」メニューから「キャンセル」を選択します。



操作パネルで中止する

- 1 <プリンター> を押します。
- 2 [オフライン] を押します。



- 3 [はい] を押します。
 - プリント実行中のページはプリントされます。
 - プリントを中止しないときは、[いいえ] を押します。

いろいろなプリントのしかた

いろいろなプリントのご紹介

プリントのときに〔詳細設定〕や〔プロパティ〕で設定を変更したり、プリンターアイコンを右クリックしてメニューから〔印刷設定〕を変更したりすることで、さまざまな機能のプリントができます。

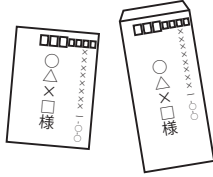
プリントのときに〔詳細設定〕を表示したとき



プリンターアイコンを右クリックして〔印刷設定〕表示したとき

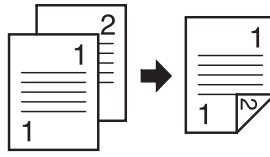


はがきや封筒など
いろいろな用紙にプリントする



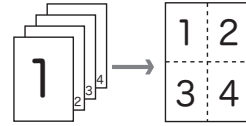
→ 2-14 ページ

用紙の両面にプリントする



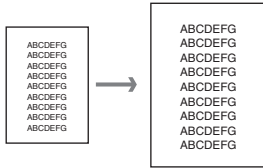
→ 2-17 ページ

1 枚の用紙にまとめる



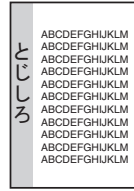
→ 2-18 ページ

拡大・縮小印刷する

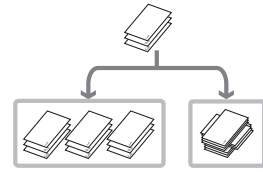


→ 2-19 ページ

とじ位置を作ってプリントする 仕上がり変更してプリントする

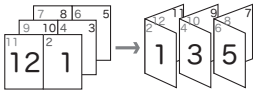


→ 2-22 ページ



→ 2-24 ページ

小冊子になるように
プリントする



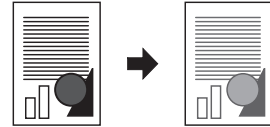
→ 2-26 ページ

人に見られないようにプリント
する (セキュリティプリント)



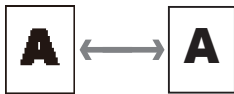
→ 2-27 ページ

トナーを節約する



→ 2-29 ページ

解像度を変える



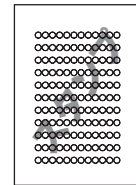
→ 2-30 ページ

印刷濃度をかえる



→ 2-31 ページ

スタンプをプリントする



→ 2-33 ページ

True Type Font を使って
プリントする

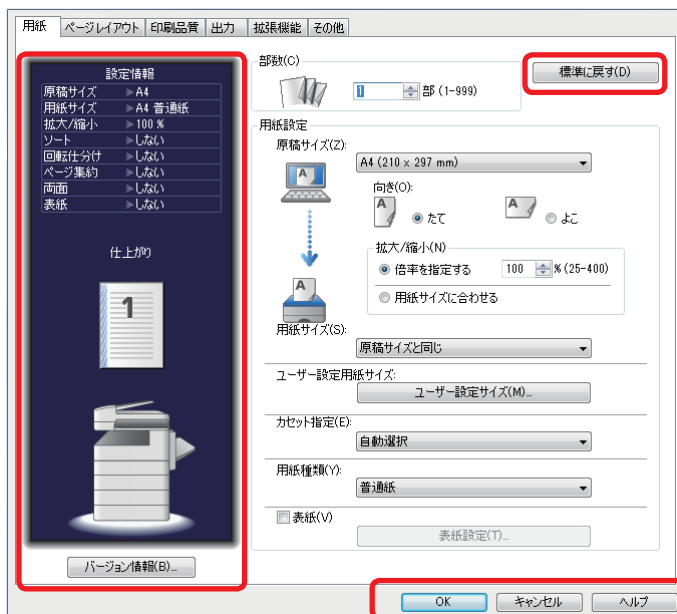
→ 2-32 ページ

詳細画面について

プリント機能の設定をする詳細画面について説明します。

■ 共通表示

すべての設定ダイアログボックスで共通に表示される箇所について説明します。



項目	説明
設定情報	各設定ダイアログで設定したもののうち、下記の項目内容が表示されます。
原稿サイズ	「用紙」設定の「原稿サイズ」で設定した内容が反映・表示されます。
用紙サイズ	「用紙」設定の「用紙サイズ」で設定した内容が反映・表示されます。
拡大 / 縮小	「用紙」設定の「拡大 / 縮小」で設定した内容が反映・表示されます。
ソート	「出力」設定の「ソート (1部ごと)」で設定した内容が反映・表示されます。
回転仕分け	「出力」設定の「回転仕分け」で設定した内容が反映・表示されます。
ページ集約	「ページレイアウト」設定の「ページ集約」で設定した内容が反映・表示されます。
両面	「ページレイアウト」設定の「両面 / 小冊子」で設定した内容が反映・表示されます。
表紙	「用紙」設定の「表紙」で設定した内容が反映・表示されます。
仕上がり	向き (「用紙」設定)、ページ集約 (「ページレイアウト」設定)、両面 / 小冊子 (「ページレイアウト」設定) の設定内容が反映・表示されます。
装着オプションイメージ	本製品のイメージが表示されます。
バージョン情報	クリックすると、プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。
標準に戻す	クリックすると、設定値が初期値に戻ります。
OK	クリックすると、設定内容を保存し、ダイアログボックスを閉じます。
キャンセル	クリックすると、設定内容を破棄します。
ヘルプ	クリックすると、ドライバーのヘルプが表示されます。

■ 「用紙」 タブ

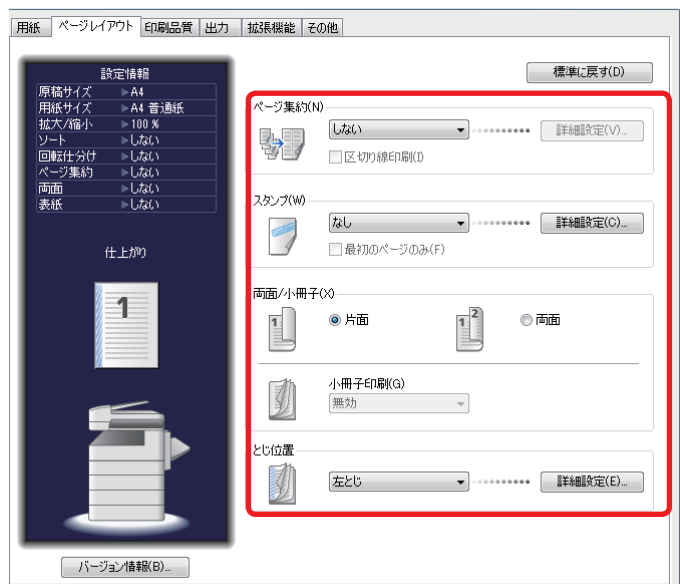
用紙に関する設定を行います。



項目	説明	参照ページ
部数	プリントする部数を設定します。	—
用紙設定	プリントする用紙に関する設定を行います。	—
原稿サイズ	プルダウンメニューで原稿サイズを選択します。 選択できる原稿サイズは以下のとおりです。 Letter、Half Letter、Legal、11 × 17、A3、A4、A5、B4、B5、F4、Executive、はがき、往復はがき、DL、COM10、8K、16K、Monarch、長形 4 号、角形 2 号	—
向き	プリントする用紙の方向（たて・よこ）を指定します。	—
拡大 / 縮小	「倍率を指定する」、「用紙サイズに合わせる」のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 「倍率を指定する」を選択したときは、倍率（25～400%）を指定します。 「用紙サイズに合わせる」を選択すると、プリントする用紙サイズに合わせて自動的に倍率を調整します。 	2-19
用紙サイズ	プルダウンメニューからプリントする用紙サイズを設定します。 選択できる用紙サイズは、選択できる原稿サイズと同じです。	—
ユーザー設定用紙サイズ	[ユーザー設定サイズ] をクリックすると、「ユーザー設定サイズ」ダイアログボックスが表示されます。	2-15
カセット指定	プリントする用紙のあるカセットを選択します。	—
用紙種類	プルダウンメニューからプリントする用紙の種類を選択します。 選択できる用紙の種類は以下のとおりです。 普通紙、厚紙、OHP、封筒、はがき	2-14
表紙	1 枚目に使用する用紙を、別の用紙にしたいときに設定します。 この機能を使用するには、「表紙」のチェックボックスをクリックし、「表紙設定」から 1 枚目に使用したい用紙がセットされているカセットを選択します。	—

■ 「ページレイアウト」タブ

ページレイアウトに関する設定を行います。



項目	説明	参照ページ
ページ集約	プルダウンメニューから集約する原稿の枚数を選択します。 選択できる枚数は以下のとおりです。 しない、2枚、4枚、8枚	2-18
区切り線印刷	チェックを入れると、集約された用紙の各ページに区切り線をプリントします。	
詳細設定	[詳細設定] をクリックすると、「配置順設定」ダイアログが表示されます。	
スタンプ*1	プルダウンメニューからプリントするスタンプを選択します。 [詳細設定] でスタンプの作成、変更、削除ができます。	2-33
最初のページのみ	チェックを入れると、プリントする最初のページにだけスタンプをプリントします。	
詳細設定	[詳細設定] をクリックすると、「スタンプ詳細設定」ダイアログが表示されます。	
両面 / 小冊子	両面印刷、小冊子印刷の設定を行います。	2-17 2-26
片面・両面	用紙の片面、両面印刷を選択します。	
小冊子印刷	複数ページの原稿をプリントして重ね合わせて中央で2つ折にしたとき、小冊子になるようにプリントします。 選択できる種類は以下のとおりです。 無効、Letter 小冊子、Half Letter 小冊子、Legal 小冊子、11 × 17 小冊子、A3 小冊子、A4 小冊子、A5 小冊子、B4 小冊子、B5 小冊子、F4 小冊子、Executive 小冊子、8K 小冊子、16K 小冊子	
とじ位置	プルダウンメニューで原稿のとじ方向を設定します。 選択できるとじ方向は以下のとおりです。 上とじ、左とじ、右とじ、下とじ	2-22
詳細設定	[詳細設定] をクリックすると、「とじしる詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。	

* 1 オプションの PCL、PS のプリンターでのみ使用できます。

■ 「印刷品質」 タブ

印刷品質に関する設定を行います。



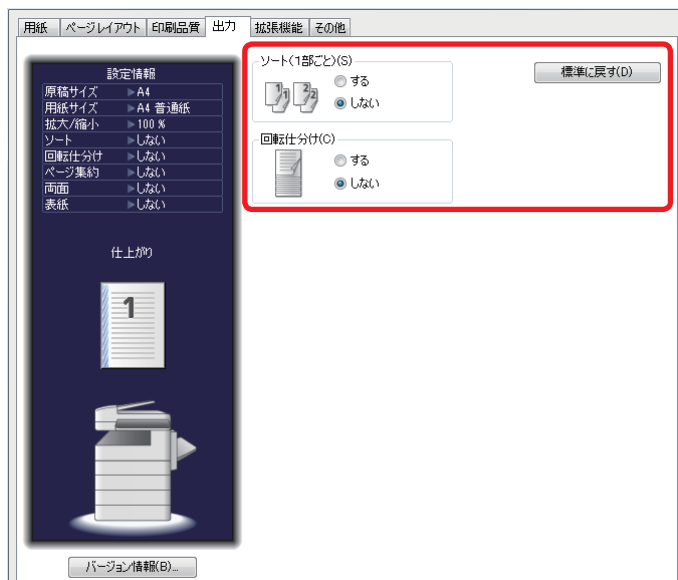
項目	説明	参照ページ
トナー節約	「する」を選択すると、トナーの消費量を制限します。	2-29
解像度	プリントの解像度を選択します。 選択できる解像度は以下のとおりです。 300 × 300 dpi、600 × 600 dpi	2-30
印字濃度	プリントの濃度レベル (-50 ~ 50) を設定します。 数値設定は以下の方法で行えます。 <ul style="list-style-type: none"> スライドバーを左右に移動させて数値を調整します。移動させると、入力ボックスの数値が自動変化します。 「薄く」をクリックすることにより、濃度レベルを1つ下げます。「濃く」をクリックすることにより、濃度レベルを1つ上げます。「初期値」をクリックすると、濃度レベルを初期値に戻します。 	2-31
グラフィックエンハンスモード*1	「[詳細設定]」をクリックすると表示されます。 アプリケーションによってプリント速度が遅くなったり、正しくプリントできなくなったりするときにこのモードを有効にしてください。 ただし正しくプリントできないことがありますので、通常は無効に設定してください。	—
TrueType フォント印刷方法*2	フォントで TrueType を使用している場合のプリントの処理方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「自動」を選択すると、本製品に搭載されていないフォントは、コンピューターからダウンロードしてプリントします。(プリントは早くなります) 「アウトライン」を選択すると、すべての TrueType フォントを本製品にダウンロードしてプリントします。(プリントが遅くなることがあります) 「ビットマップ」を選択すると、TrueType フォントをビットマップ画像として本製品に転送します。プリント結果が画面表示と同じようにプリントできないときに選択してください。(プリントは遅くなります) 	2-32

項目	説明	参照 ページ
PostScript パススルー*3	<p>PostScript ドライバーでプリントする場合、PostScript パススルーにより一部のアプリケーションソフトウェアで追加機能が利用できます。通常は有効にしておく必要があります。</p> <p>PostScript パススルーが有効になっている場合、スタンプ、ページ集約、小冊子印刷などのオプションは、一部のアプリケーションソフトウェアでは正しくプリントされない場合があります。これはアプリケーションソフトウェアによっては、ドライバーで制御できないプリンターへの PostScript のデータが送信されるためです。その他のアプリケーションソフトウェアでは問題なく制御できます。</p> <p>補足</p> <p>「PostScript パススルー」を無効にすると、アプリケーションソフトウェアが予期しない動きをする可能性があります。</p>	-

- * 1 標準のドライバーでのみ使用できます。
- * 2 オプションの PCL、PS のプリンターでのみ使用できます。
- * 3 この設定は PS ドライバーでのみ使用できます。

■ 「出力」 タブ

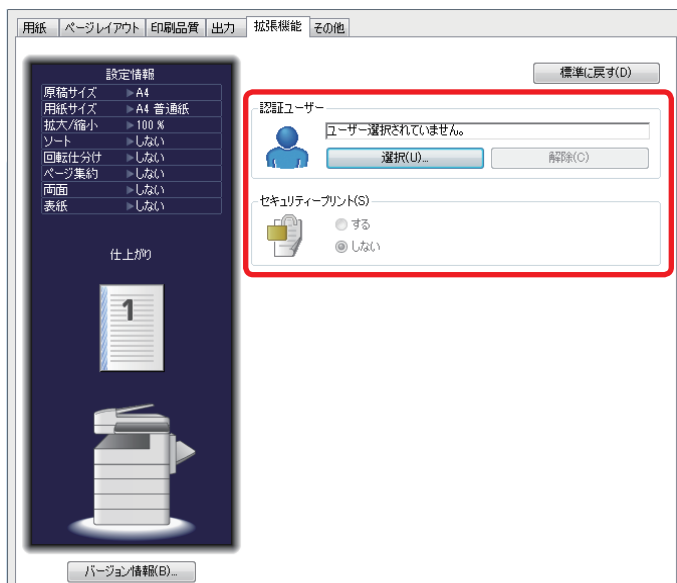
出力に関する設定を行います。



項目	説明	参照ページ
ソート (1部ごと)	「する」を選択すると、1部ごとにまとめて排出します。	2-24
回転仕分け	「する」を選択すると、向きを変えて用紙を排出します。ソートを ON にして使用すると、1部ごとに用紙の向きを変えて排出します。	2-24

■ 「拡張機能」 タブ

拡張機能に関する設定を行います。

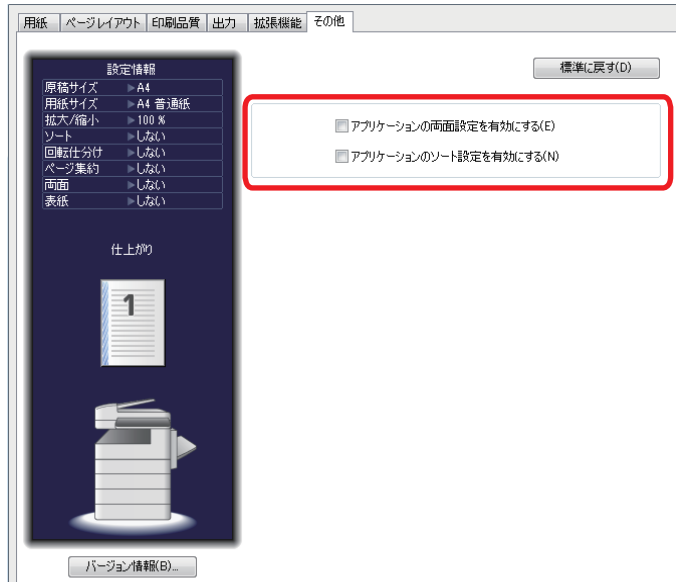


項目	説明	参照ページ
認証ユーザー* ¹	現在ログインしている認証ユーザー名が表示されます。ユーザーを変更する場合は、[選択] をクリックし、「ユーザー認証」ダイアログボックスでユーザー名を選択し、パスワード入力して変更を行います。	—
セキュリティープリント* ¹	「する」を選択すると、セキュリティープリントを実行します。	2-27

* 1 ネットワーク接続時のみ使用できます。

■ 「その他」 タブ

そのほか印刷に関する設定を行います。



項目	説明	参照ページ
アプリケーションの両面設定を有効にする	アプリケーション側で両面印刷を設定した場合で、正しく両面印刷できないときにチェックを入れます。	—
アプリケーションのソート設定を有効にする	アプリケーション側で「部単位で印刷」(ソート)を設定した場合で、正しくソートできないときにチェックを入れます。	—

補足

このタブは、MFX-2875、MFX-2875 PCL5e、MFX-2875 PCL6 のプリンターでだけ表示されます。

はがきや封筒などいろいろな用紙にプリントする

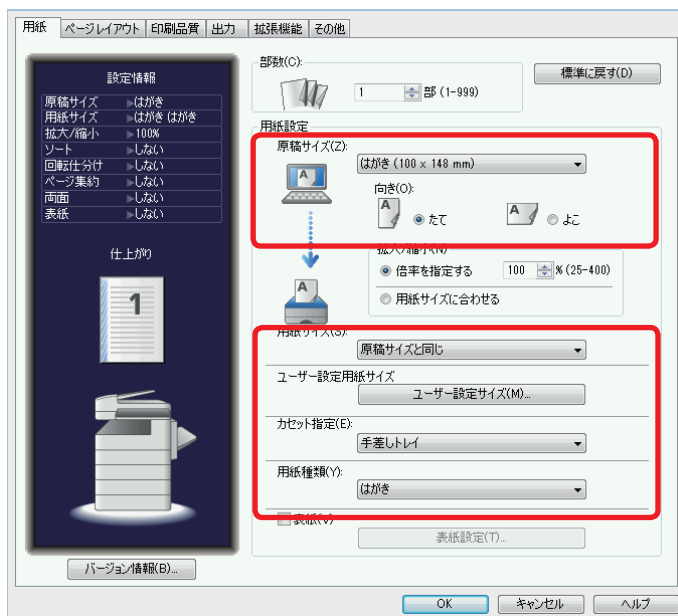
はがき、封筒、OHPシート、厚紙、任意の用紙にプリントできます。

補足

用紙は、手差しトレイにセットしてください。詳しいセット方法は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。

■ いろいろな用紙にプリントする

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「用紙」タブが選択されていることを確認します。
- 5 「原稿サイズ」で原稿のサイズを選択します。
 - はがきや封筒にプリントするときは、それぞれ「はがき」または「封筒」を選択します。
 - 任意の用紙にプリントするときは、[ユーザー設定サイズ]をクリックして、「短辺」および「長辺」の長さを入力します。
- 6 「用紙サイズ」から、使用したい用紙サイズを選択します。
必要に応じて、倍率の設定を行ってください。
- 7 「カセット指定」で、用紙がセットされたカセットまたは手差しトレイを選択します。
- 8 「用紙種類」から、使用したい用紙の種類を選択します。



用紙の種類は、普通紙、厚紙、OHP、はがき、封筒から選択します。

9 [OK] をクリックします。

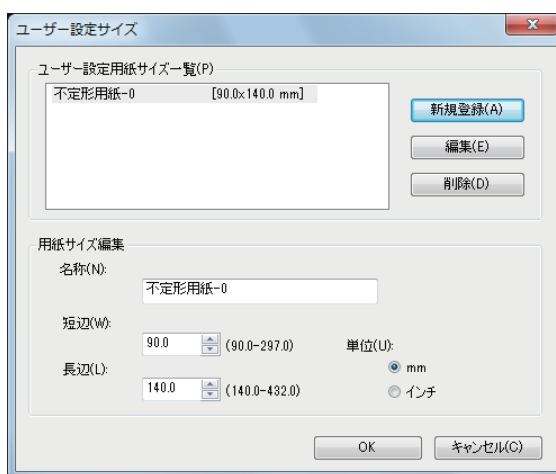
10 [印刷] をクリックします。

補足

- 任意の用紙サイズは、短辺は 90.0 ~ 297.0mm、長辺は 140.0 ~ 432.0 mm の範囲で入力できます。
- 入力した [ユーザー設定サイズ] は、名称を付けて、[新規登録] をクリックして保存できます。名称は全角 10 文字 (半角 20 文字) まで入力できます。詳細は、下記を参照してください。

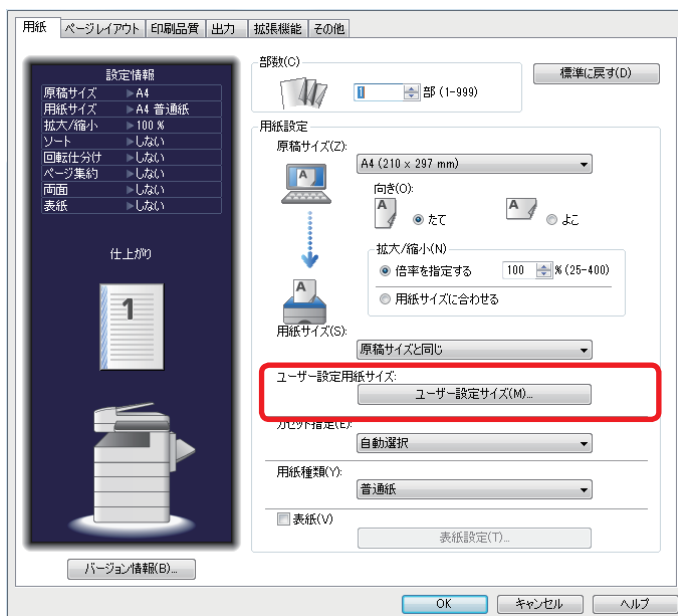
■ 用紙サイズを登録する

このダイアログボックスでユーザー設定用紙サイズの登録・編集ができます。ユーザー設定用紙サイズは、最大 50 種類まで登録できます。



項目	説明
ユーザー設定用紙サイズ一覧	登録したユーザー設定用紙がリスト表示されます。
新規登録	ユーザー設定用紙を新規登録します。 最大 50 種類まで登録できます。登録数が 50 種類に達すると、グレースアウト表示になります。
編集	登録したユーザー設定用紙を編集します。
削除	登録したユーザー設定用紙を、ユーザー設定用紙サイズ一覧から削除します。
用紙サイズ	ユーザー設定用紙の設定を行います。 [新規登録]、[編集] をクリックすると、このエリアが有効となります。
名称	ユーザー設定用紙の名称を入力します。 最大全角 10 文字 (半角 20 文字) まで入力できます。
短辺	ユーザー設定用紙の短辺の長さを設定します。 設定値は、mm 単位の場合は 90.0 ~ 297.0 で、インチ単位の場合は 3.54 ~ 11.69 で入力します。
長辺	ユーザー設定用紙の長辺の長さを設定します。 設定値は、mm 単位の場合は 140.0 ~ 432.0 で、インチ単位の場合は 5.51 ~ 17.00 で入力します。
単位	長さの単位 (mm・インチ) を選択します。

- 1 プリンターアイコンを右クリックして [印刷設定] 表示します。
または、「いろいろな用紙に印刷する」の手順 1 から手順 3 を行います。
- 2 「用紙」タブが選択されていることを確認します。
- 3 「ユーザー設定用紙サイズ」をクリックします。



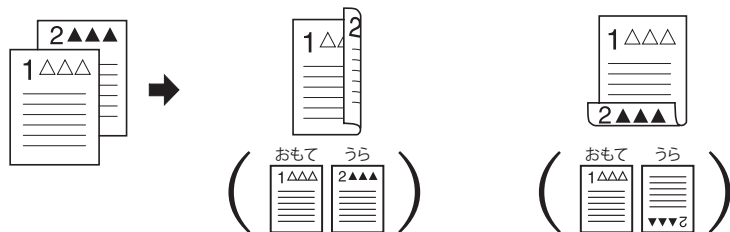
- 4 「新規登録」をクリックします。
 - すでに登録して登録してある用紙サイズを編集するときは、編集したい用紙サイズを選択し、「編集」をクリックします。
 - 登録してある用紙サイズを削除するときは、削除したい用紙サイズを選択し、「削除」をクリックします。
- 5 ユーザー設定用紙の名称を入力します。
- 6 「短辺」および「長辺」の長さを入力します。
- 7 単位を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。

用紙の両面にプリントする

用紙の両面にプリントします。

左とじ、右とじの場合

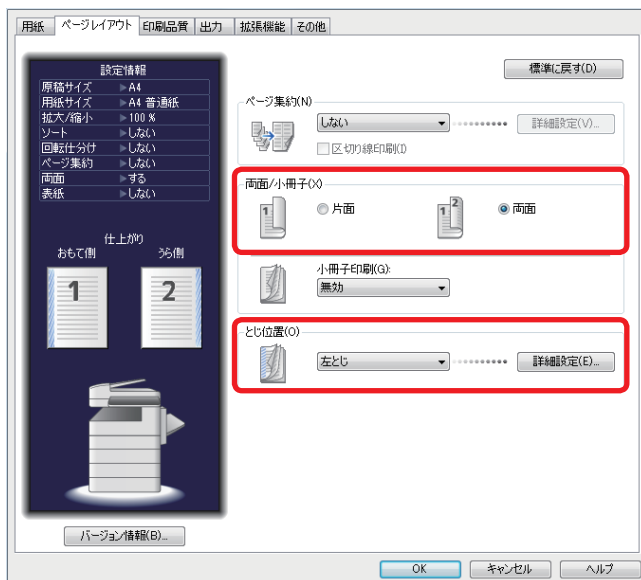
上とじの場合



補足

両面プリントに使用できる用紙は、A3、B4、A4、A4 、B5、B5 、A5、A5 です。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「ページレイアウト」タブをクリックします。
- 5 「両面 / 小冊子」で「両面」を選択します。
- 6 「とじ位置」でとじ位置を選択します。



- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [印刷] をクリックします。

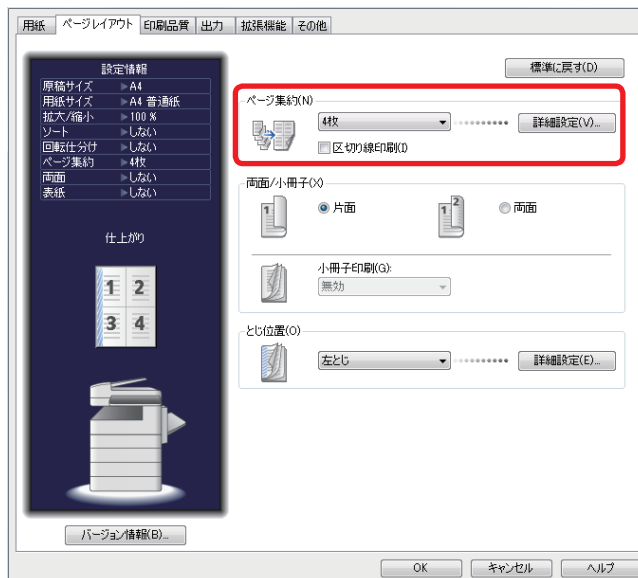
1 枚の用紙にまとめてプリントする (ページ集約)

連続するページを一定の枚数(2枚、4枚、8枚)で1枚の用紙にまとめてプリントします。

補足

「ページ集約」機能での倍率はすべて自動倍率に固定されます。任意倍率の設定はできません。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「ページレイアウト」タブをクリックします。
- 5 「ページ集約」から集約する枚数を選択します。

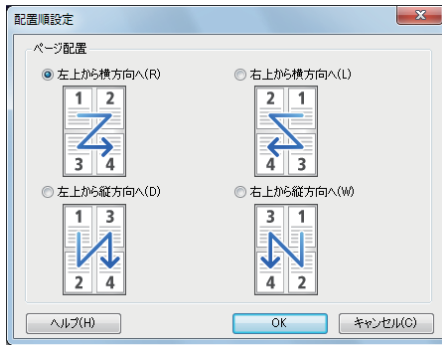


- 原稿の区切り線をプリントするときは、「区切り線印刷」のチェックボックスにチェックを入れます。
- ページの配置順を変更するときは、「詳細設定」をクリックして、ページの配置順を設定します。

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [印刷] をクリックします。

補足

「ページ集約」の「[詳細設定]」をクリックすると、ページの配置順を変更できます。配置順のイメージは集約の枚数および用紙の向きによって変わります。



拡大・縮小してプリントする

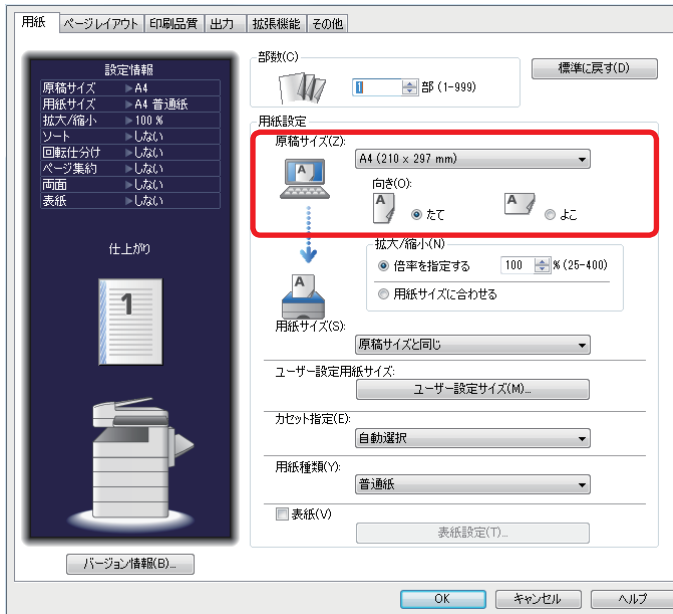
■ 用紙サイズに合わせてプリントする

指定した用紙サイズに合わせて拡大または縮小の倍率を自動設定します。

ここでは、例として A4 サイズの原稿を A3 サイズの用紙にプリントする操作方法を説明します。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「[詳細設定]」をクリックします。
- 4 「用紙」タブが選択されていることを確認します。

5 「原稿サイズ」を選択します。

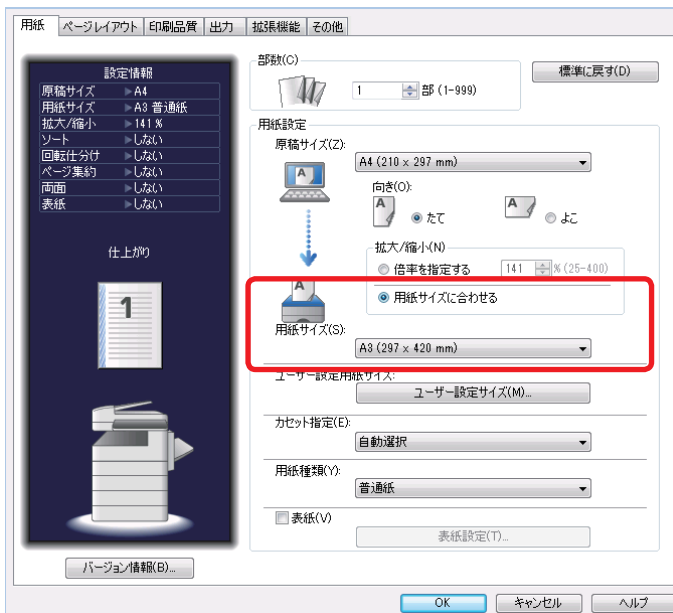


ここでは、「A4 (210 × 297 mm)」を選択します。

6 「用紙サイズ」を選択します。

ここでは、「A3 (297 × 420 mm)」を選択します。

7 「拡大 / 縮小」で「用紙サイズに合わせる」を選択します。



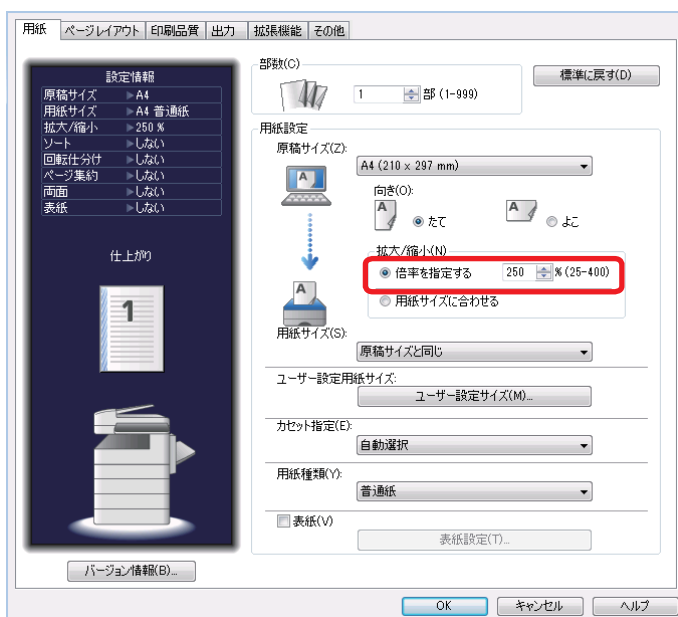
8 [OK] をクリックします。

9 [印刷] をクリックします。

■ 任意の倍率を指定してプリントする

原稿の倍率を指定します。

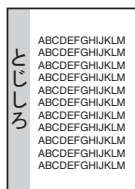
- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「用紙」タブが選択されていることを確認します。
- 5 「拡大 / 縮小」で「倍率を指定する」を選択し、入力ボックスに任意の倍率を指定します。



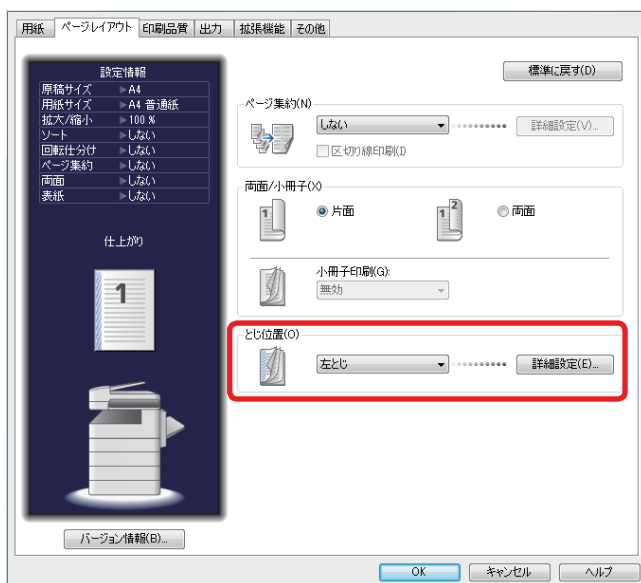
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [印刷] をクリックします。

余白を付けてプリントする（とじ位置）

用紙のとじ方向ととじしろを設定します。
用紙の片面、両面のいずれにも設定できます。

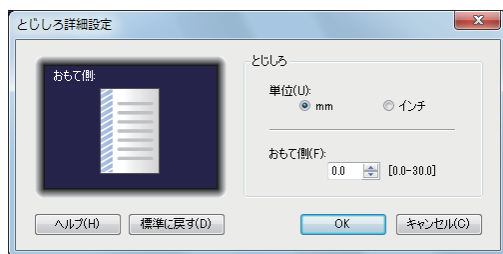


- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「ページレイアウト」タブをクリックします。
- 5 「とじ位置」を選択します。



- 6 [詳細設定] をクリックします。

7 とじしろの単位を選択し、とじしろを指定します。



- 「片面」印刷を設定している場合は、おもて側のみのとじしろを設定します。
- 「両面」印刷を設定している場合は、おもて側、うら側それぞれとじしろを設定します。

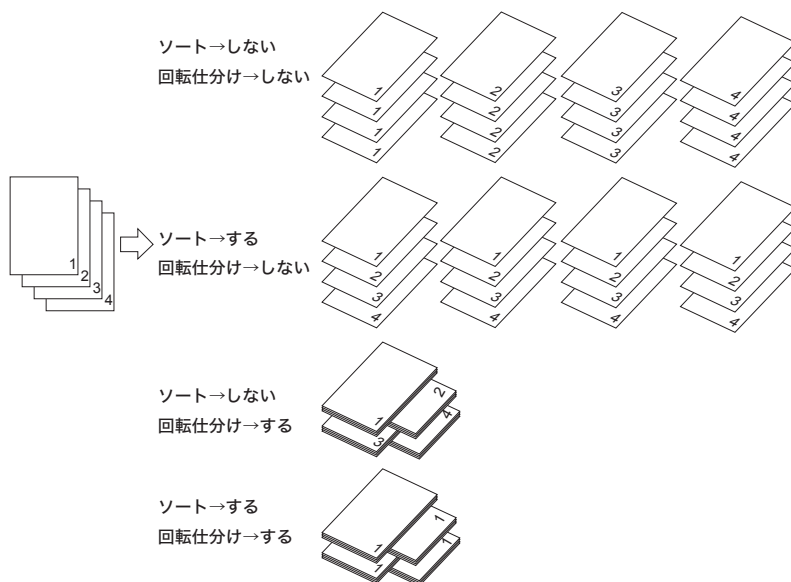
8 [OK] をクリックします。

9 [OK] をクリックします。

10 [印刷] をクリックします。

仕分けしてプリントする

複数部数を、部数ごとにそろえて排出したり（ソート）、90度回転させて（回転仕分け）排出したりすることができます。

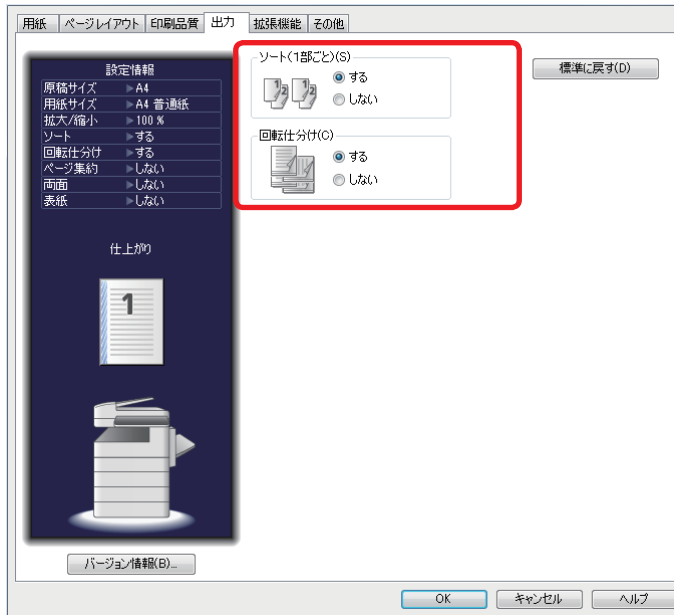


補足

「回転仕分け」機能を使用するには、同じサイズ用の紙を、方向（縦・横）を変えて別々のカセットにセットする必要があります。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「出力」タブをクリックします。

5 ソートの種類を選択します。



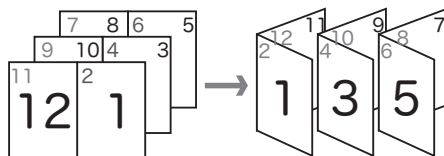
- ソートを行う場合は、「ソート」の「する」を選択します。
- 回転仕分けを行う場合は、「回転仕分け」の「する」を選択します。

6 [OK] をクリックします。

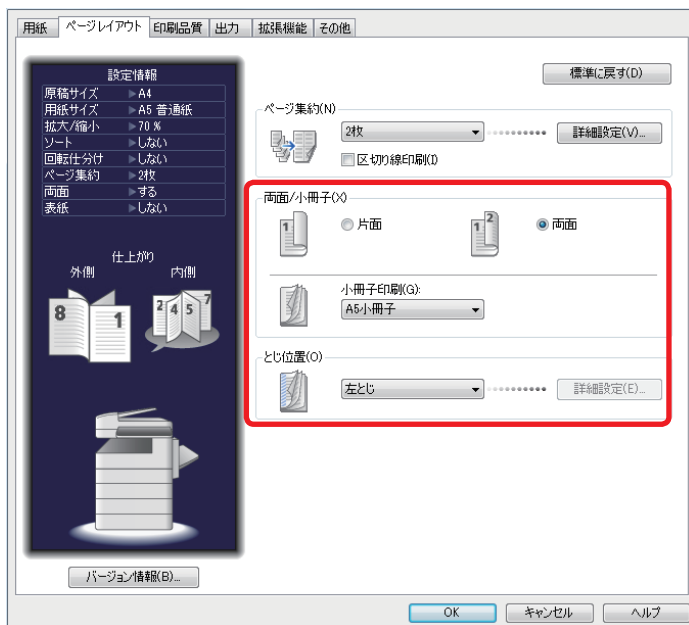
7 [印刷] をクリックします。

小冊子になるようにプリントする（小冊子印刷）

複数ページの原稿をプリントして重ね合わせて中央で2つ折りにしたとき、小冊子になるようにプリントします。



- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「ページレイアウト」タブをクリックします。
- 5 「ページ集約」で「2枚」を選択します。
- 6 「両面 / 小冊子」で「両面」を選択します。
- 7 「小冊子印刷」から小冊子のサイズを選択します。

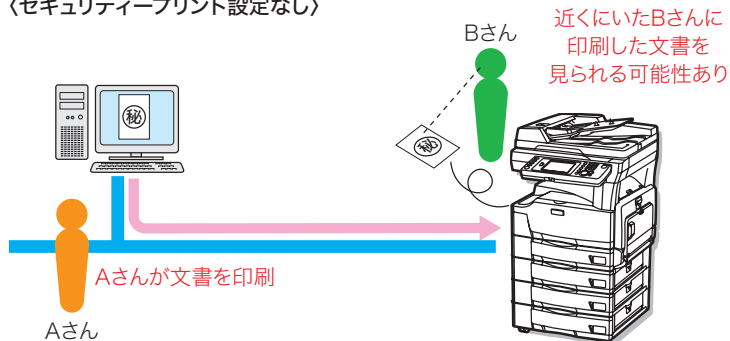


- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [印刷] をクリックします。

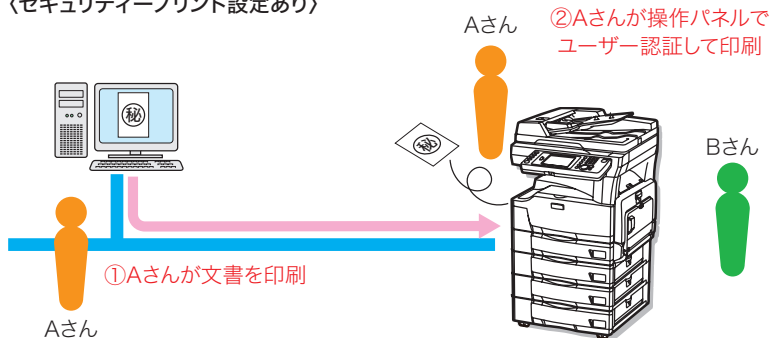
他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)

セキュリティープリントとは、プリント指示するときに認証ユーザーを選択し、機器側でユーザー認証を行うことで、自分がプリント指示した文書だけをプリントする機能です。機密文書などを第三者に見られる危険性を減らせます。

〈セキュリティープリント 設定なし〉



〈セキュリティープリント 設定あり〉



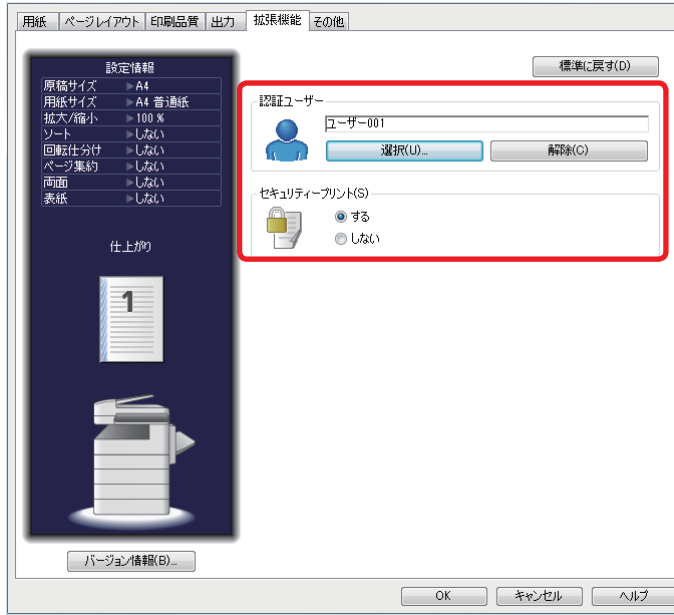
ここでは、機器にプリントデータを蓄積する方法を説明します。ユーザー認証を行って、蓄積されたデータをプリントする方法については、「他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)」を参照してください。(→ 4-2 ページ)

補足

この機能を利用するときは、Information server でユーザーを登録してください。詳細は『Information server 編 第3章』の「使用するユーザーを登録する」を参照してください。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。

- 4 「拡張機能」タブをクリックします。
- 5 「認証ユーザー」で[選択]をクリックし、ユーザーを選択してから[OK]をクリックします。
必要に応じて、パスワードも入力します。
- 6 「セキュリティープリント」で「する」を選択します。



- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [印刷] をクリックします。
 - プリントデータが機器に蓄積されます。
 - 蓄積されたプリントデータをプリントする方法は、「他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)」を参照してください。(→ 4-2 ページ)

補足

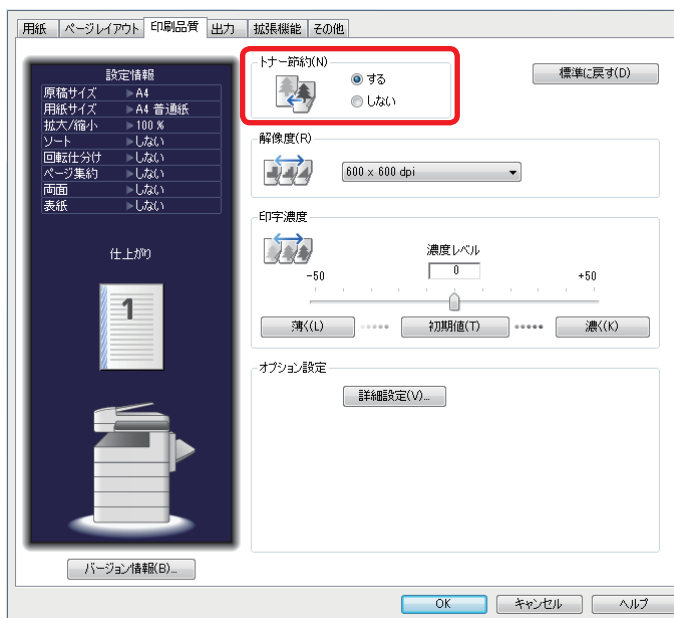
データは機器内に 24 時間蓄積され、その時間が過ぎると消去されます。データを蓄積する時間を変更できます。(→ 4-9 ページ)

印刷品質を変更する

■ トナーを節約する

トナー節約機能は印刷品質を保ちながらトナー消費量を調節し、トナー交換サイクルを長くします。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「印刷品質」タブをクリックします。
- 5 「トナー節約」で「する」を選択します。

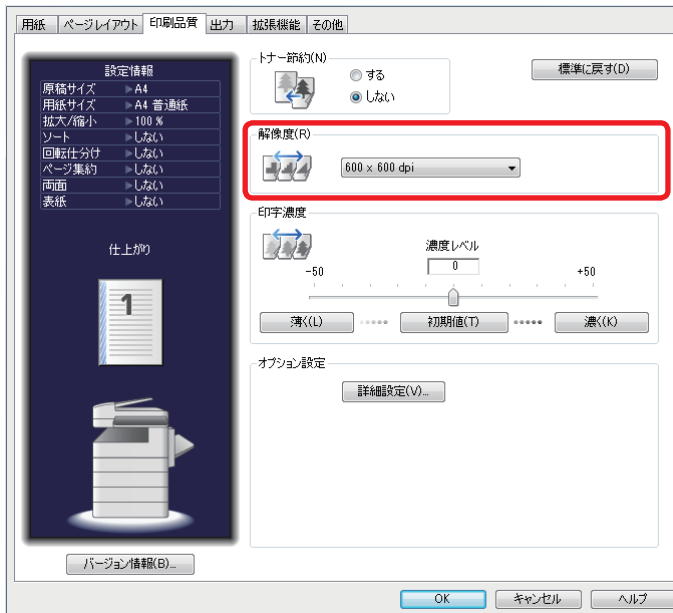


- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [印刷] をクリックします。

■ 解像度を変える

解像度 (600 × 600 dpi、300 × 300 dpi) を変更してプリントできます。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「印刷品質」タブをクリックします。
- 5 「解像度」から解像度を選択します。

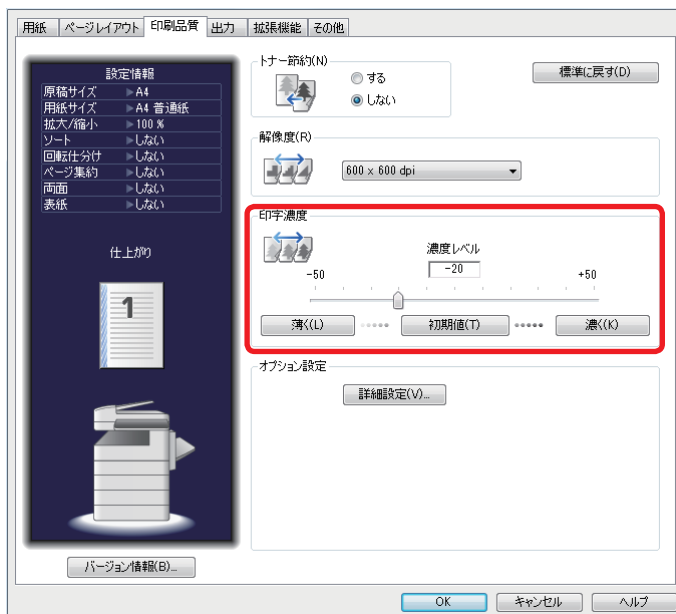


- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [印刷] をクリックします。

■ 印刷濃度を変える

印刷結果の濃度レベルを調整できます。濃さ、薄さともに 50 段階で調整できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「印刷品質」タブをクリックします。
- 5 「印字濃度」で濃度を調整します。



- 濃度レベルを上げたい場合は、[濃く] をクリックします。
- 濃度レベルを下げたい場合は、[薄く] をクリックします。
- 中央のスライダーを左右にドラッグしても濃度レベルを調整できます。
- 初期値に戻したい場合は、[初期値] をクリックします。

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [印刷] をクリックします。

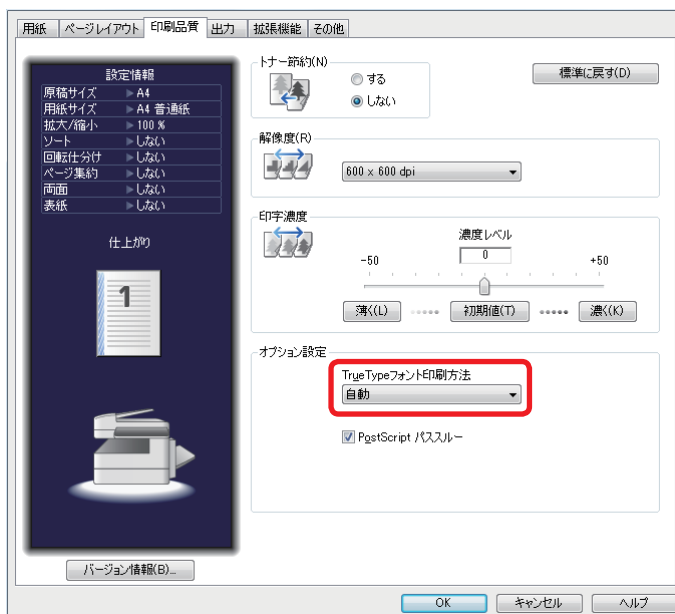
■ コンピューターのフォントでプリントする

TrueType フォントを画面表示のようにプリントできます。

補足

- この機能はオプションの PCL、PS ドライバーでのみ有効です。標準のドライバーではご使用になれません。
- 設定によってはプリント速度が遅くなる場合があります。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「印刷品質」タブをクリックします。
- 5 「TrueType フォント印刷方法」で印刷方法を選択します。



- 「自動」を選択すると、機器に搭載されていないフォントはコンピューターからダウンロードしてプリントします。(プリントは早くなります。)
- 「アウトライン」を選択すると、すべての TrueType フォントを機器にダウンロードしてプリントします。(プリントが遅くなる場合があります。)
- 「ビットマップ」を選択すると、TrueType フォントをビットマップ画像として機器に転送します。(プリントは遅くなります。)

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [印刷] をクリックします。

スタンプをプリントする

アプリケーションソフトウェアで作成したプリントデータに、スタンプ（背面にプリントされる文字）を重ねてプリントできます。

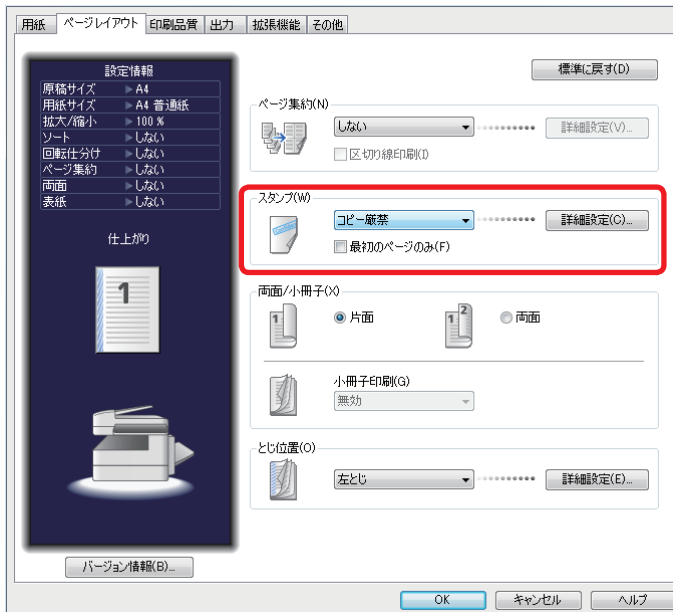
スタンプは、すでに用意されているものから選択することも、新しく登録することもできます。

補足

- スタンプ機能を使用するには、オプションのプリンターコントローラーキットが必要です。
- スタンプ機能は、オプションの PCL、PS ドライバーでのみ使用できます。（PS ドライバーを使用するには、オプションの PS3 拡張キットが必要です。）

■ スタンプをプリントする

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 「プリンターの選択」で使用するドライバーを選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 「ページレイアウト」タブをクリックします。
- 5 「スタンプ」から使用するスタンプを選択します。



- 最初のページにのみスタンプをつけるには、「最初のページのみ」にチェックを入れます。
- [詳細設定] をクリックすると、スタンプの詳細を設定できます。詳細は、補足を確認してください。

- 6 [OK] をクリックします。

- 7 [印刷] をクリックします。

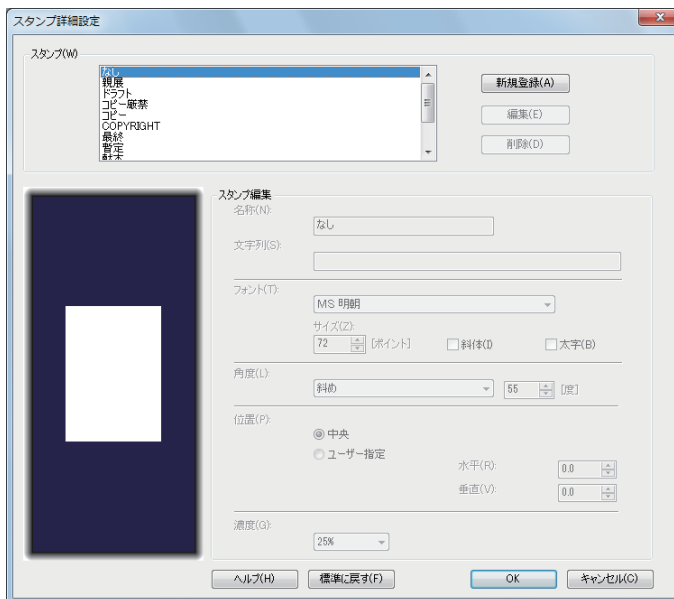
補足

手順 5 の詳細設定に関する項目は、以下の説明を参照してください。

項目	説明						
スタンプリスト	登録されているスタンプが一覧表示されます。						
新規登録	スタンプを新規登録します。						
編集	選択しているスタンプを編集します。						
削除	選択しているスタンプを削除します。						
名称	スタンプの登録名を入力します。(全角 15 文字まで)						
文字列	スタンプとして使用する文字列を入力します。(全角 15 文字まで)						
フォント	プルダウンメニューから使用するフォントを選択します。						
	<table border="1"> <tr> <td>サイズ</td> <td>文字列のサイズ (10 ~ 144 ポイント) を設定します。</td> </tr> <tr> <td>斜体</td> <td>チェックを入れると、文字列のスタイルを斜体に設定します。</td> </tr> <tr> <td>太字</td> <td>チェックを入れると、文字列のスタイルを太字に設定します。</td> </tr> </table>	サイズ	文字列のサイズ (10 ~ 144 ポイント) を設定します。	斜体	チェックを入れると、文字列のスタイルを斜体に設定します。	太字	チェックを入れると、文字列のスタイルを太字に設定します。
サイズ	文字列のサイズ (10 ~ 144 ポイント) を設定します。						
斜体	チェックを入れると、文字列のスタイルを斜体に設定します。						
太字	チェックを入れると、文字列のスタイルを太字に設定します。						
角度	プルダウンメニューから文字列の角度を選択します。 選択できる文字列の角度は以下のとおりです。 水平、垂直、斜め、ユーザー定義 「ユーザー定義」を選択すると、任意の角度を設定できます。(-180 ~ 180 度)						
位置	「中央」「ユーザー指定」のいずれかから選択します。 「ユーザー指定」を選択すると、用紙の中央を基点として水平位置 (-10.0 ~ 10.0) および垂直位置 (-10.0 ~ 10.0) を設定できます。						
濃度	プルダウンメニューから文字列の濃度を選択します。 選択できる文字列の濃度は以下のとおりです。 10%、25%、50%、75%、100%						

■ 新しいスタンプを登録する

- 1 プリンターアイコンを右クリックしてメニューから [印刷設定] を表示します。
例えば、Windows 7 では、[スタート] ボタンから「コントロールパネル」→「デバイスとプリンター」または「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
- 2 設定したいプリンターを右クリックし、「印刷設定」を選択します。
プリンターが複数インストールされているときは、「印刷設定」をクリックして、目的のプリンターを選択します。
- 3 「ページレイアウト」タブをクリックします。
- 4 「スタンプ」の [詳細設定] をクリックします。
- 5 [新規登録] をクリックします。



- 6 「スタンプ編集」欄の各項目を入力します。
詳細は、前のページにある補足を確認してください。(→ 2-34 ページ)
- 7 [OK] を 2 回クリックします。

PDF ダイレクトプリント

ショートカットアイコンから PDF ファイルを直接プリントできます。

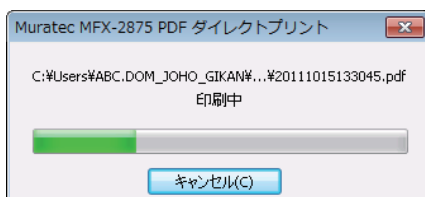
補足

- PDF ダイレクトプリントをするには、オプションのプリンターコントローラーキットと PS3 拡張キットが必要です。
- 暗号化 PDF はプリントできません。

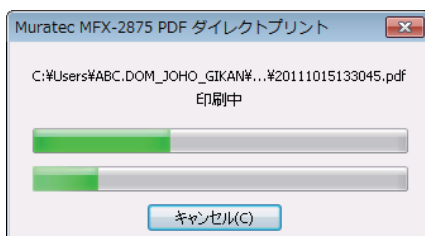
ダイレクトプリントのしかた

- 1 デスクトップのショートカットアイコン、「MFX-2875 で PDF ファイルを印刷」に、印刷したいファイルをドラッグ&ドロップします。

「Muratec MFX-2875 PDF ダイレクトプリント」画面が表示されます。



複数文書の場合



[キャンセル] を押すと、プリントを中止できます。複数文書をプリントしている場合は、プリント中の文書だけでなく、プリント予定の文書をすべてキャンセルします。

- 2 プリントが終了したら、[閉じる] を押します。

ダイレクトプリントの設定を変更する

- 1 デスクトップのショートカットアイコン、「MFX-2875 で PDF ファイルを印刷」をダブルクリックします。
- 2 設定を変更します。
設定できる内容については、次の項目を参照してください。
- 3 [OK] をクリックします。

■ [印刷設定] タブ

機能	機能説明	設定値
部数	プリントする部数を設定します。	1 ~ 999 : <u>1</u> 部
カセット指定	使用するカセットを指定します。 補足 カセット 3、4 は、4 段タイプの機器をご使用のときのみ表示されます。	自動選択 手差しトレイ カセット 1 カセット 2 カセット 3 カセット 4
用紙種類	用紙種類を設定します。	普通紙 厚紙 OHP はがき 封筒
ソート	仕分けの設定をします。	する <u>しない</u>
トナー節約	トナーの消費を抑えたプリントを設定します。	する <u>しない</u>
両面印刷	両面印刷を設定します。	する <u>しない</u>

補足

__の付いている値が、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

■ [初期設定] タブ

機能	機能説明	設定値
プリンタ名または IP アドレス	出力先のプリンターのプリンター名または IP アドレスを入力します。 [検索] から、IP アドレスやプリンター名を検索することができます。	
起動方法	「デスクトップ」にショートカットを作成」 チェックすると、ダイレクトプリントのショートカットアイコンをデスクトップに追加します。 「右クリック“送る”メニューに追加」 チェックすると、PDF ファイルの右クリックメニューの「送る」から「MFX-2875 で PDF ファイルを印刷」を選択しても、ダイレクトプリントすることができます。	出荷時に設定されている値ではチェックあり
装着オプション	4 段タイプの機器をご使用のときは、チェックをします。	出荷時に設定されている値ではチェックなし

■ [バージョン情報] タブ

アプリケーション名、アプリケーションのバージョンや著作権を表示します。

第3章

Macintosh 環境からプリントする

基本的なプリントのしかた.....	3-2
プリント中止のしかた	3-3
コンピューター側で中止する.....	3-3
操作パネルで中止する	3-4
いろいろなプリントのしかた.....	3-5
いろいろなプリントのご紹介.....	3-5
詳細画面について	3-7
いろいろな用紙にプリントする	3-11
用紙の両面にプリントする.....	3-13
1枚の用紙にまとめてプリントする（ページ集約）.....	3-14
拡大・縮小してプリントする.....	3-15
余白を付けてプリントする（とじ位置）.....	3-17
仕分けしてプリントする	3-19
他人に見られないようにプリントする（セキュリティープリント）.....	3-21
印刷品質を変更する.....	3-23
スタンプをプリントする	3-26

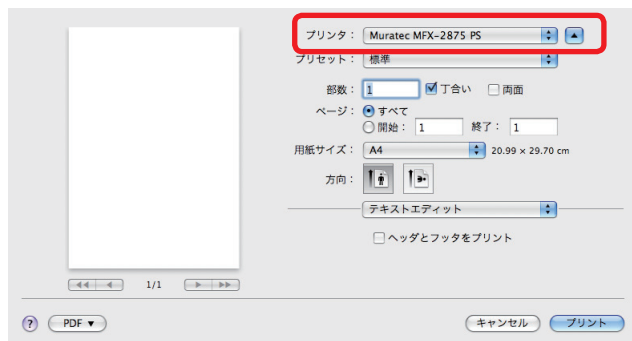
基本的なプリントのしかた

ほとんどのアプリケーションソフトウェアでは、「ファイル」メニューから「印刷」（または「プリント」）をクリックしてプリントを実行します。

補足

「プリント」ダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。

- 1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で、出力したいプリンター名が選択されていることを確認します。



- 3 プリントする部数などを設定します。
必要に応じて設定画面を切り替えて、詳細を設定します。

- 4 [プリント] をクリックします。

補足

プリントは、本製品が「オンラインモード」のときに実行できます。

「オフラインモード」になると、プリントデータの受信を中断するためにプリントができません。オンラインとオフラインは、操作パネルで〈プリンター〉を押して、[オンライン] と [オフライン] を押すと切り替えられます。

プリント中止のしかた

プリントを中止するには、まずコンピューター側でプリントを中止します。コンピューター側でプリントを中止できなかったときは、操作パネルでプリントを中止します。

補足

- お使いのコンピューターによって若干操作が異なります。
- ここでは Mac OS 10.5 を使って説明します。

コンピューター側で中止する

- 1 [アップルメニュー] → 「システム環境設定」 → 「プリントとファクス」の順にクリックします。
- 2 プリント中のプリンターアイコンをクリックします。
- 3 [プリントキューを開く] をクリックします。
- 4 プリントを中止するドキュメントを選択し、「削除」をクリックします。



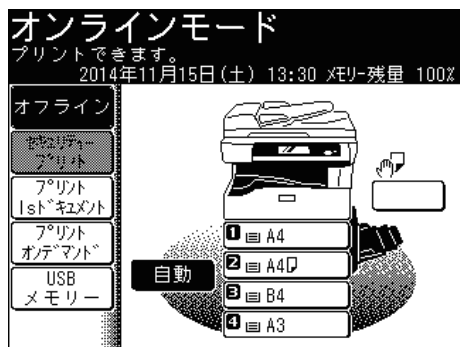
"名称未設定"をプリント中。

状況	名前	ユーザ	時間	完了
プリント中	名称未設定		15:25	

操作パネルで中止する

1 〈プリンター〉を押します。

2 [オフライン]を押します。



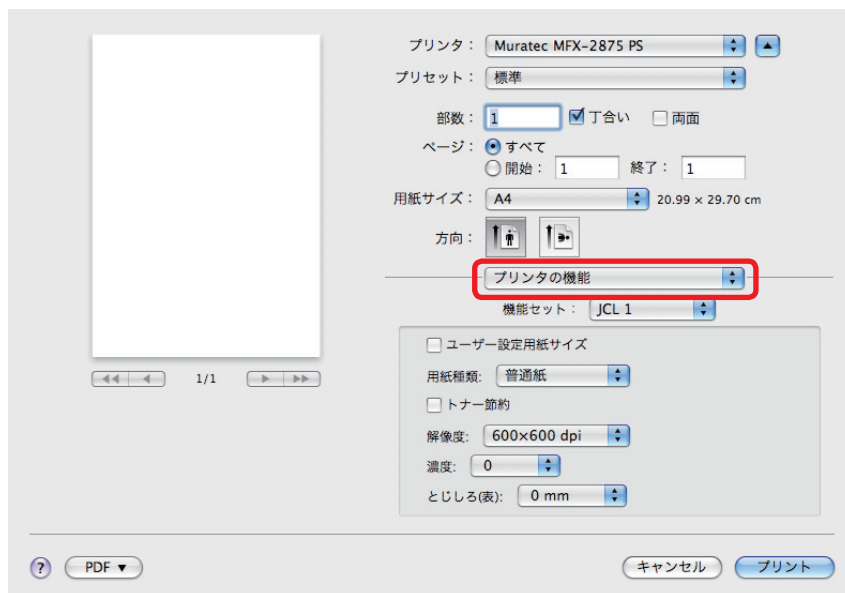
3 [はい]を押します。

- プリント実行中のページはプリントされます。
- プリントを中止しないときは、[いいえ]を押します。

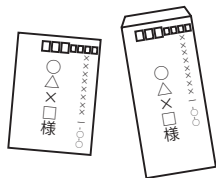
いろいろなプリントのしかた

いろいろなプリントのご紹介

プリントのときに [プリンタの機能] で設定を変更して、さまざまな機能のプリントができます。

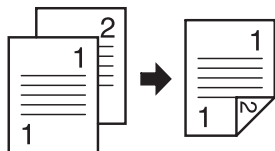


はがきや封筒など
いろいろな用紙にプリントする



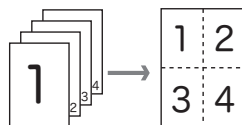
→ 3-11 ページ

用紙の両面にプリントする



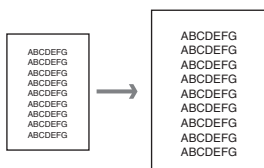
→ 3-13 ページ

1 枚の用紙にまとめる



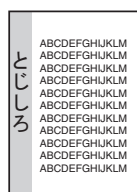
→ 3-14 ページ

拡大・縮小印刷する

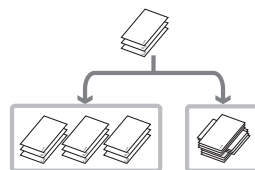


→ 3-15 ページ

とじ位置を作ってプリントする 仕上がり変更してプリントする



→ 3-17 ページ



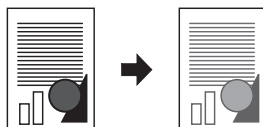
→ 3-19 ページ

人に見られないようにプリント
する (セキュリティープリント)



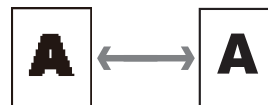
→ 3-21 ページ

トナーを節約する



→ 3-23 ページ

解像度を変える



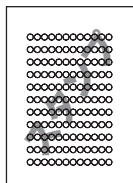
→ 3-24 ページ

印刷濃度をかえる



→ 3-25 ページ

スタンプをプリントする



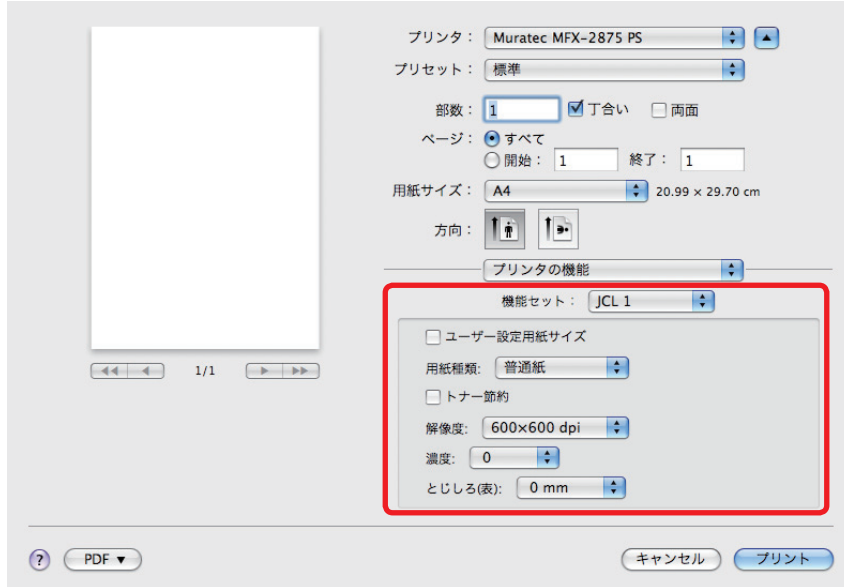
→ 3-26 ページ

詳細画面について

プリント機能の設定をする詳細画面について説明します。

■ 機能セット：JCL1

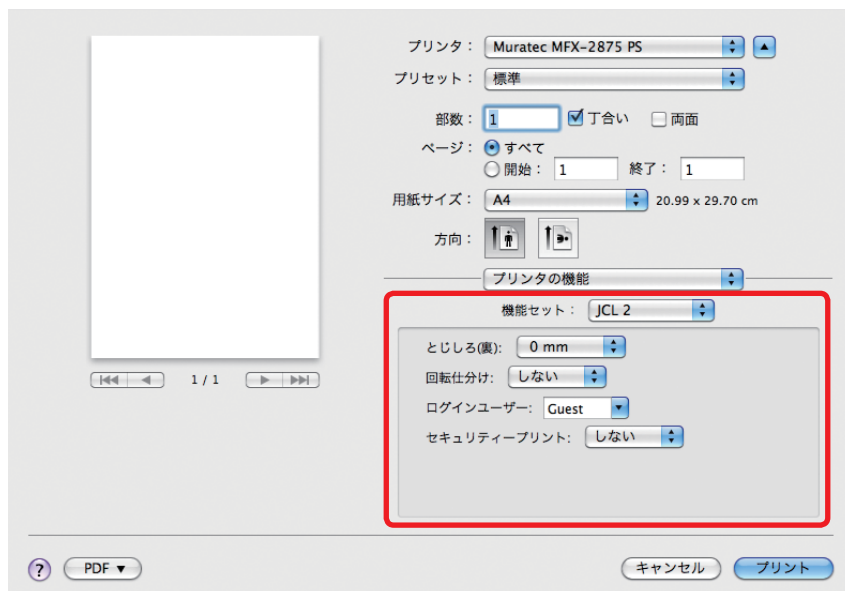
用紙種類やとじしろなどの設定を行います。



項目	説明	参照ページ
ユーザー設定用紙サイズ	登録した不定形サイズ of 用紙を使用するときに、チェックを入れます。	—
用紙種類	プリントする用紙の種類を選択します。 選択できる用紙の種類は以下のとおりです。 普通紙、厚紙、OHP、はがき、封筒	3-11
トナー節約	チェックすると、トナーの消費量を制限します。	3-23
解像度	プリントの解像度を選択します。 選択できる解像度は以下のとおりです。 300×300 dpi、600×600 dpi	3-24
濃度	プリントの濃度レベル (-50 ~ 50) を設定します。	3-25
とじしろ (表)	表面のとじしろ (0 ~ 30 mm) を設定します。	3-17

■ 機能セット：JCL2

用紙に関する設定を行います。

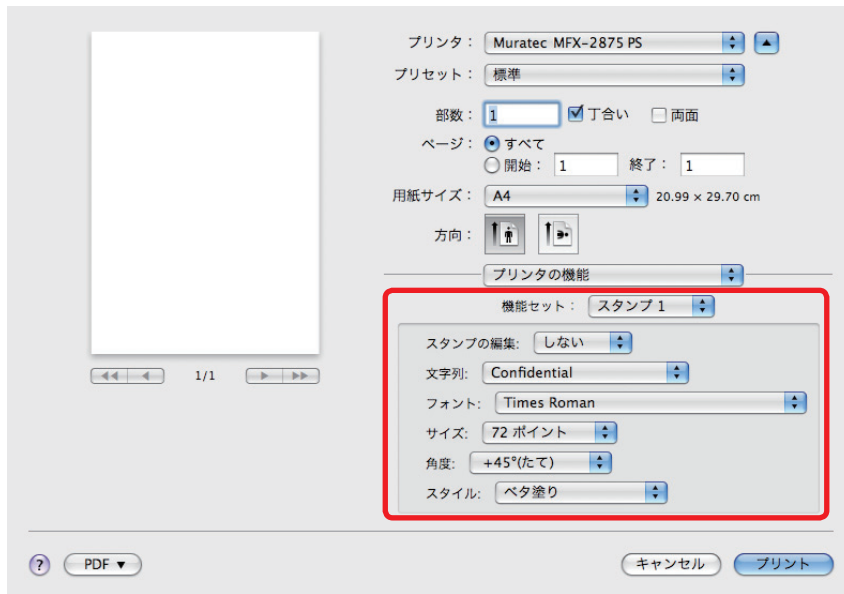


項目	説明	参照ページ
とじしろ (裏)	裏面のとじしろ (0 ~ 30 mm) を設定します。	3-17
回転仕分け	「する」を選択すると、プリントした文書を部数ごとに 90 度回転させて仕分けします。	3-19
認証ユーザー* ¹	現在ログインしている認証ユーザー名が表示されます。ユーザーを変更する場合は、ログイン ID を直接入力します。	—
セキュリティープリント* ¹	「する」を選択すると、セキュリティープリントを実行します。	3-21

*1 ネットワーク接続時のみ使用できます。Mac OS X10.6 ~ 10.7 は、「プリンターの機能」ではなく「ユーザー認証」中に設定があります。また、Mac OS X10.5 以前には、この機能はありません。

■ 機能セット：スタンプ 1

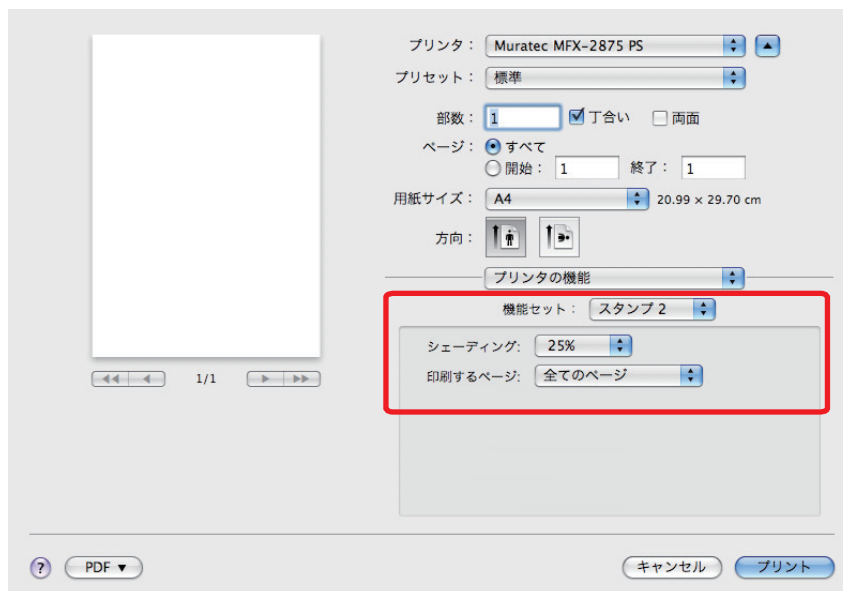
スタンプのフォント種類やフォントサイズなどの設定を行います。



項目	説明	参照 ページ
スタンプの編集	「する」を選択すると、アプリケーションソフトウェアで作成したプリントデータに、スタンプ（プリントデータの背面にプリントされる文字）を重ねてプリントします。	3-26
文字列	スタンプにしたい文字列を選択します。 選択できる設定は以下のとおりです。 Company Confidential、Company Proprietary、Company Private、Confidential、Copy、Copyright、Draft、File Copy、Final、For Internal Use Only、Preliminary、Proof、Review Copy、Sample、Top Secret、Urgent	3-26
フォント	スタンプの文字列に使用するフォントを選択します。	3-26
サイズ	スタンプの文字列のフォントサイズ（24～90ポイント）を設定します。	3-26
角度	スタンプの文字列の角度（±180° たて～±180° よこ）を設定します。	3-26
スタイル	スタンプの文字列のスタイルを選択します。 選択できる設定は以下のとおりです。 縁取り（狭い）、縁取り（ふつう）、縁取り（広い）、縁取り（広い、後光）、ベタ塗り	3-26

■ 機能セット：スタンプ 2

スタンプのシェーディングやスタンプをプリントするページの設定を行います。



項目	説明	参照 ページ
シェーディング	スタンプの網かけの濃度を選択します。 選択できる設定は以下のとおりです。 10%、25%、50%、75%、100%	3-26
印刷するページ	スタンプを入れるページを選択します。 スタンプは全てのページ、または最初のページのみに入れられません。	3-26

いろいろな用紙にプリントする

はがき、封筒、OHPシート、厚紙、任意の用紙にプリントできます。

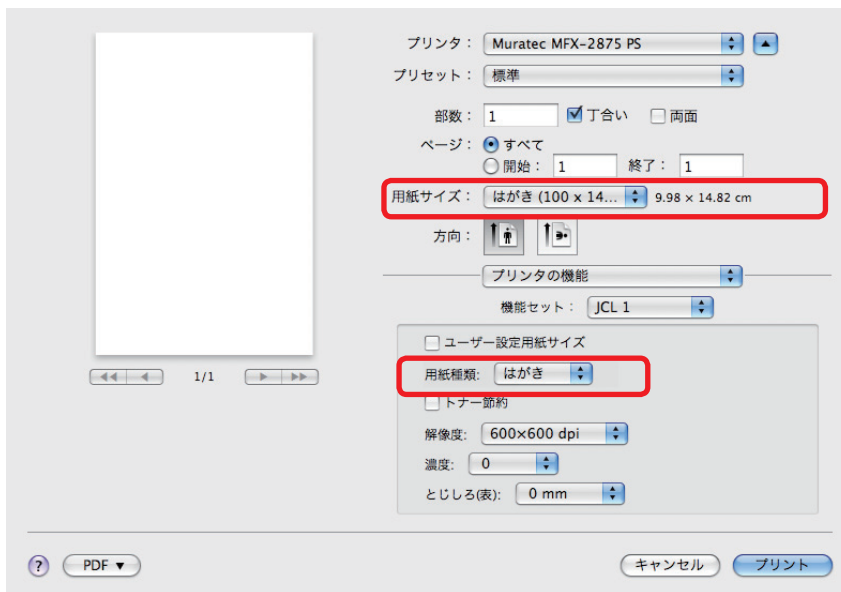
📄補足

- 用紙は、手差しトレイにセットしてください。詳しいセット方法は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
- 任意の用紙サイズの用紙にプリントするには、不定形サイズを登録する必要があります。不定形サイズを登録すると、「用紙サイズ」と「用紙処理」メニューの「出力用紙サイズ」で登録した不定形サイズの用紙を選択できるようになります。不定形サイズの登録は、「プリント」ダイアログボックスの「用紙サイズ」→「カスタムサイズを管理」または「ファイル」メニュー→「プリント」の「用紙サイズ」→「カスタムサイズを管理」で行うことができます。
- この機能は、Mac OS 10.4以降でのみ使用できます。

■ いろいろな用紙にプリントする

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「用紙サイズ」で用紙サイズを選択します。
はがきをセットしたときは、「はがき (100×148mm)」を選択します。
封筒をセットしたときは、セットした封筒を選択します。
- 4 「プリンタの機能」を選択します。
- 5 「機能セット」で「JCL1」を選択します。

6 「用紙種類」でプリントする用紙の種類を選択します。



はがきをセットしたときは「はがき」を、封筒をセットしたときは「封筒」を選択します。

7 [プリント] をクリックします。

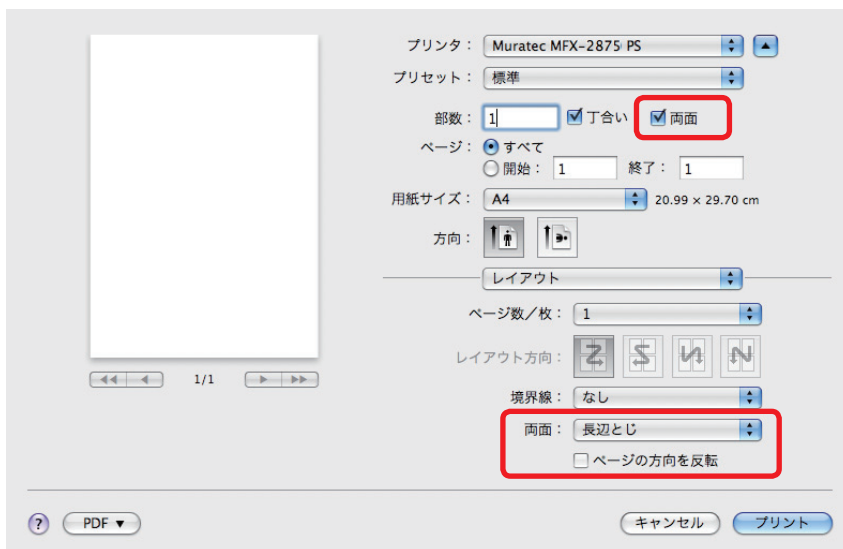
用紙の両面にプリントする

用紙の両面にプリントします。

補足

両面プリントに使用できる用紙は、A3、B4、A4、A4 、B5、B5 、A5、A5 です。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「両面」にチェックを入れます。
- 4 「レイアウト」を選択します。
- 5 「両面」のメニューからとじ位置を選択します。

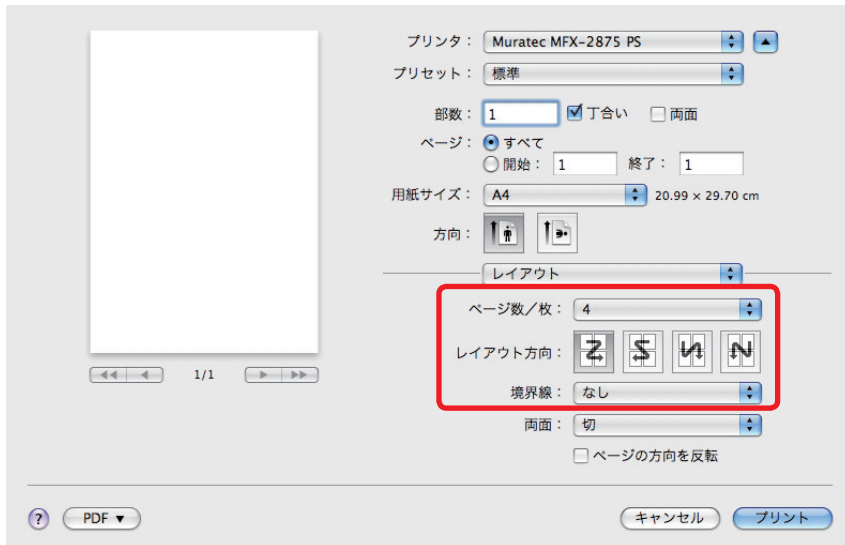


- 6 [プリント] をクリックします。

1 枚の用紙にまとめてプリントする（ページ集約）

連続するページを一定の枚数（2 枚、4 枚、6 枚、9 枚、16 枚）で 1 枚の用紙にまとめてプリントします。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「レイアウト」を選択します。
- 4 「ページ数 / 枚」のメニューから集約する枚数を選択します。



- ページの配置順を変更するときは、「レイアウト方向」からページの配置順を選択します。
- 原稿の区切り線をプリントするときは、「境界線」のメニューから区切り線の種類を選択します。

- 5 [プリント] をクリックします。

拡大・縮小してプリントする

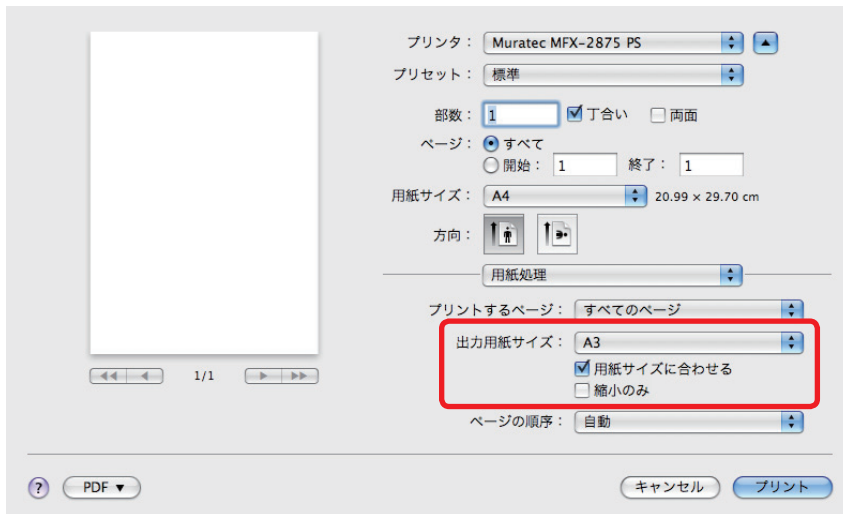
■ 用紙サイズに合わせてプリントする

指定した用紙サイズに合わせて、拡大または縮小の倍率を自動設定します。
ここでは、例として A4 サイズの原稿を A3 サイズの用紙にプリントする操作方法を説明します。

補足

この機能は、Mac OS 10.4 以降でのみ使用できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「用紙サイズ」で用紙サイズを選択します。
- 4 「用紙処理」を選択します。
- 5 「用紙サイズに合わせる」にチェックを入れます。
「用紙サイズに合わせる」は Mac OS 10.3 以下にはありません。
- 6 「出力用紙サイズ」のメニューから、使用したい用紙サイズを選択します。



原稿サイズより大きいサイズの用紙を選択した場合は、「縮小のみ」のチェックを外します。

- 7 [プリント] をクリックします。

■ 任意の倍率を指定してプリントする

原稿の倍率を指定します。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「ページ設定」を選択します。
- 2 「拡大縮小」の入力ボックスに任意の倍率を指定します。

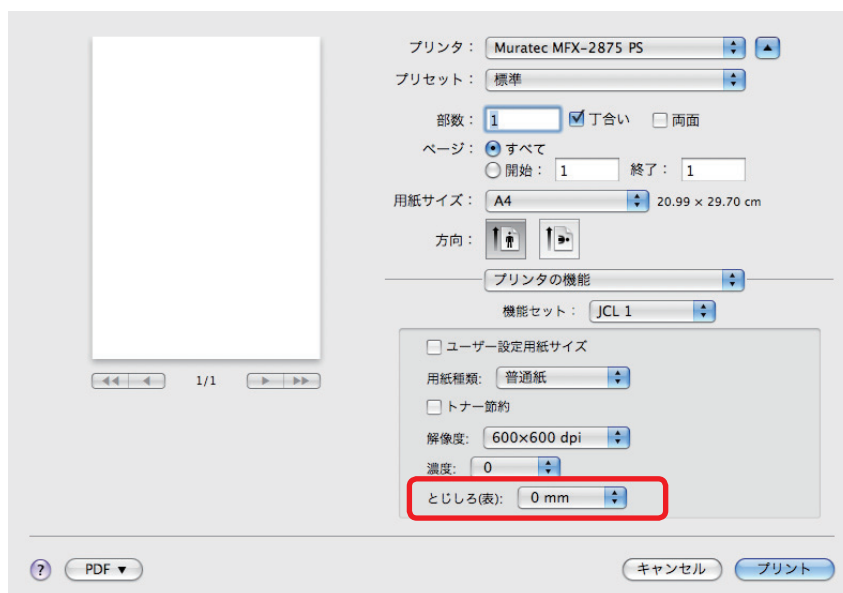


- 3 [OK] をクリックします。
- 4 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 5 [プリント] をクリックします。

余白を付けてプリントする（とじ位置）

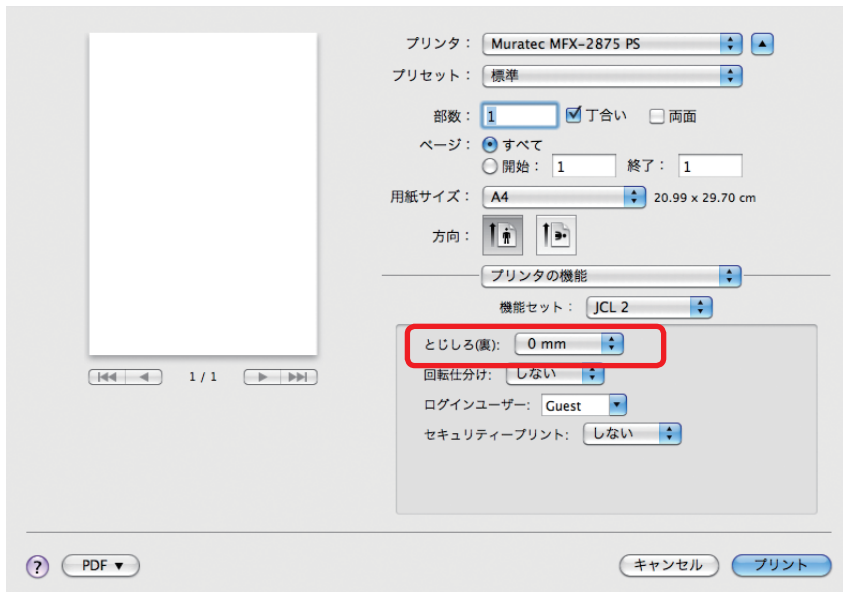
用紙のとじ方向ととじしろを設定します。
用紙の片面、両面のいずれにも設定できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「プリンタの機能」を選択します。
- 4 「機能セット」で「JCL1」を選択します。
- 5 「とじしろ（表）」で、とじしろを指定します。



- 6 両面に余白をつけるときは、「機能セット」で「JCL2」を選択します。
片面（おもて）にのみに設定するときは、手順8に進みます。

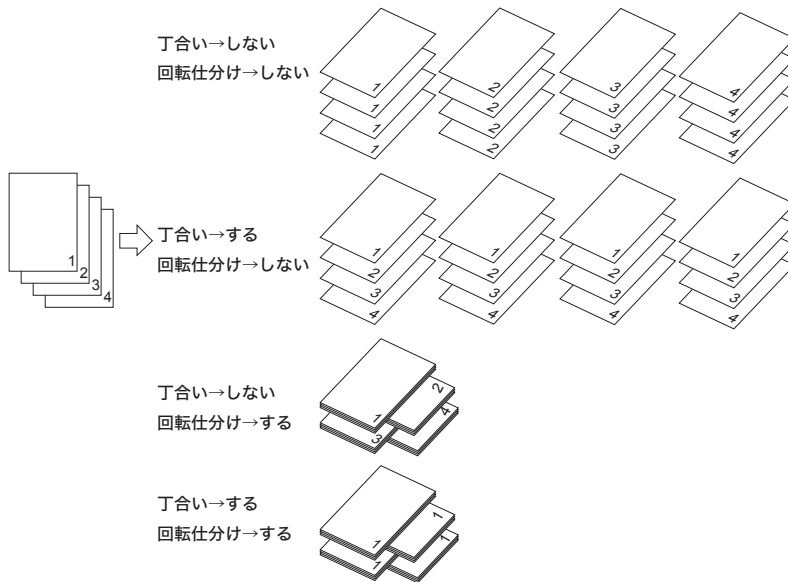
7 「とじしろ (裏)」で、とじしろを指定します。



8 [プリント] をクリックします。

仕分けしてプリントする

複数部数を、部数ごとにそろえて排出したり（丁合い）、90度回転させて（回転仕分け）排出したりすることができます。

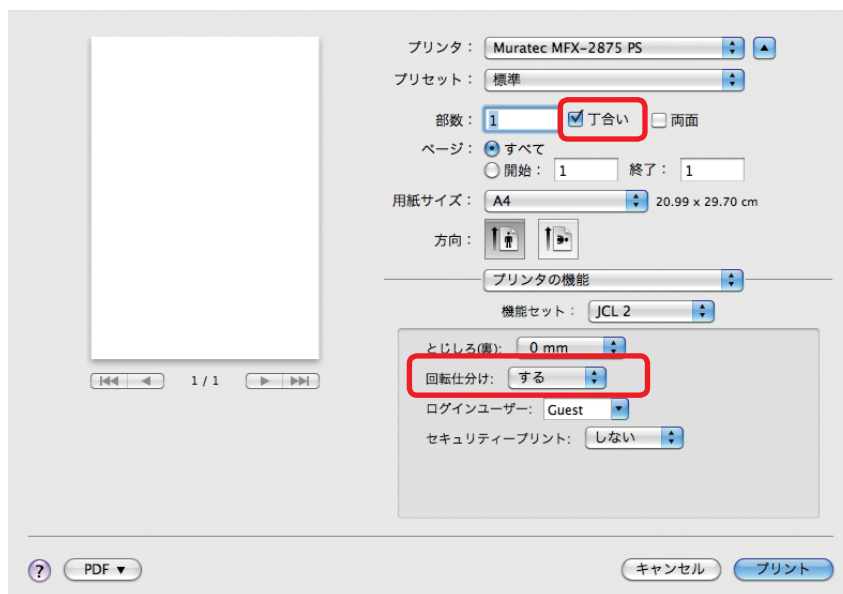


補足

「回転仕分け」機能を使用するには、同じサイズの内紙を、方向（縦・横）を変えて別々のカセットにセットする必要があります。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 丁合いを行うときは、「丁合い」にチェックを入れます。
回転仕分けをしない場合は手順7に進みます。
- 4 「プリンタの機能」を選択します。
- 5 「機能セット」で「JCL2」を選択します。

6 回転仕分けをするときは、「回転仕分け」で「する」を選択します。

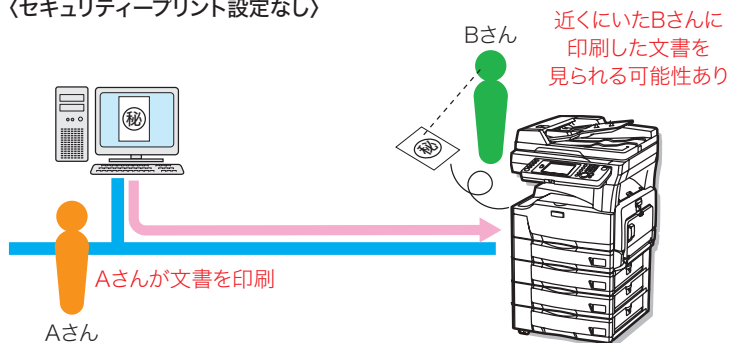


7 [プリント] をクリックします。

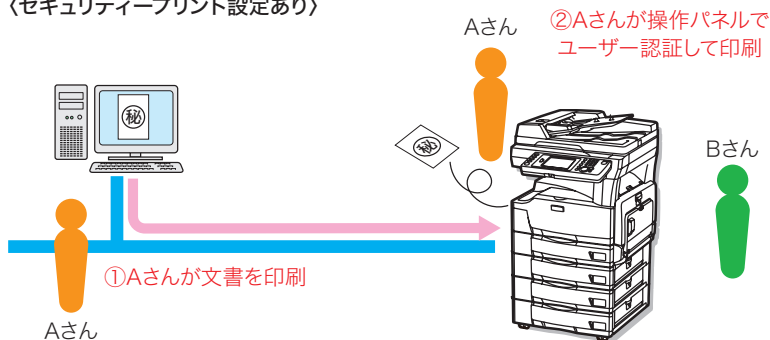
他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)

セキュリティープリントとは、プリント指示するときに認証ユーザーを選択し、機器側でユーザー認証を行うことで、自分がプリント指示した文書だけをプリントする機能です。機密文書などを第三者に見られる危険性を減らせます。

〈セキュリティープリント 設定なし〉



〈セキュリティープリント 設定あり〉



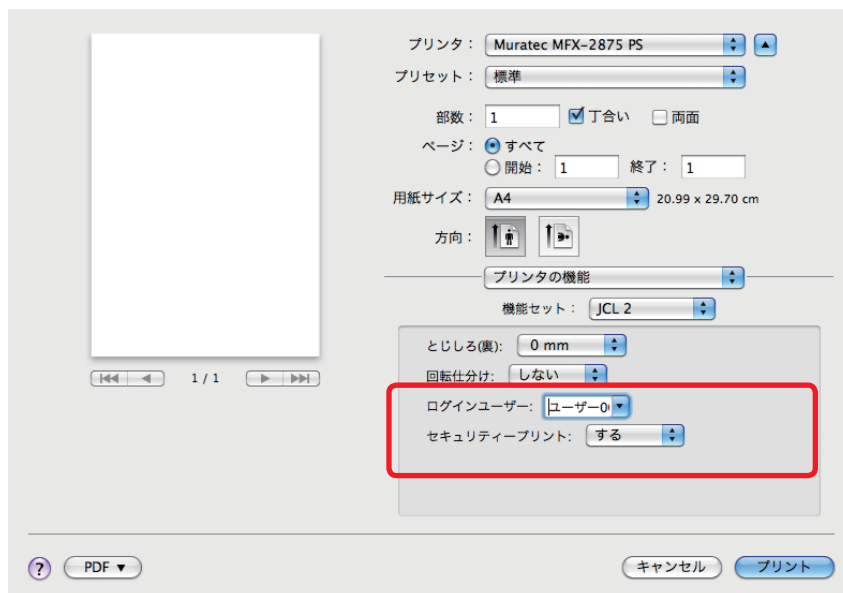
ここでは、機器にプリントデータを蓄積する方法を説明します。ユーザー認証を行って、蓄積されたデータをプリントする方法については、「他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)」を参照してください。(→ 4-2 ページ)

補足

- この機能を利用するときは、Information server でユーザーを登録してください。詳細は『Information server 編 第3章』の「使用するユーザーを登録する」を参照してください。
- Mac OS X 10.5 以前は対応していません。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。

- 3 Mac OS X10.6 ~ 10.7 の場合は「ユーザー認証」を選択します。Mac OS X10.8 ~ 10.10 の場合は「プリンタの機能」を選択します。
- 4 Mac OS X10.8 ~ 10.10 の場合は「機能セット」で「JCL2」を選択します。
- 5 「ログインユーザー」にユーザー ID を直接入力します。
- 6 「セキュリティープリント」で「する」を選択します。



7 [プリント] をクリックします。

- プリントデータが機器に蓄積されます。
- 蓄積されたプリントデータをプリントする方法は、「他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント)」を参照してください。(→ 4-2 ページ)

補足

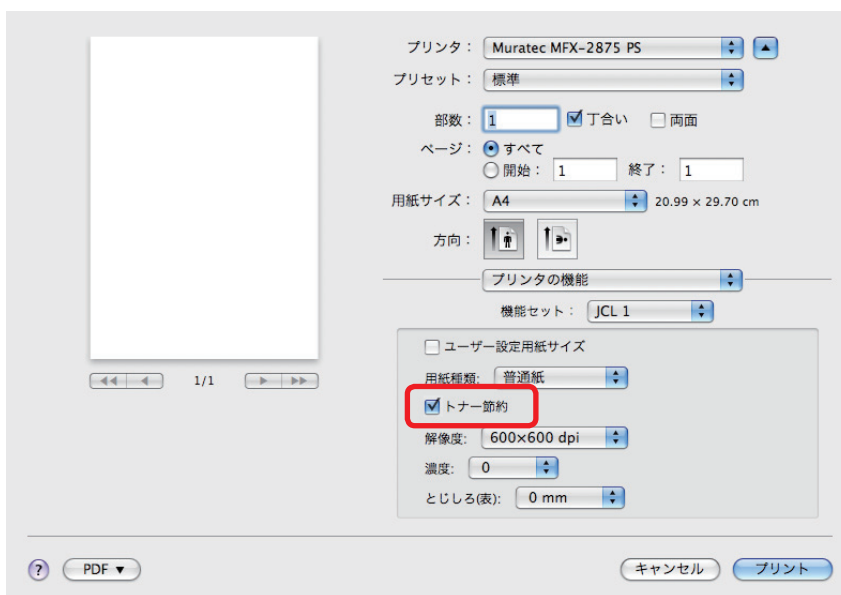
データは機器内に 24 時間蓄積され、その時間が過ぎると消去されます。データを蓄積する時間を変更できます。(→ 4-9 ページ)

印刷品質を変更する

■ トナーを節約する

トナー節約機能は印刷品質を保ちながら、トナー消費量を調節し、トナー交換サイクルを長くします。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「プリンタの機能」を選択します。
- 4 「機能セット」で「JCL1」を選択します。
- 5 「トナー節約」にチェックを入れます。

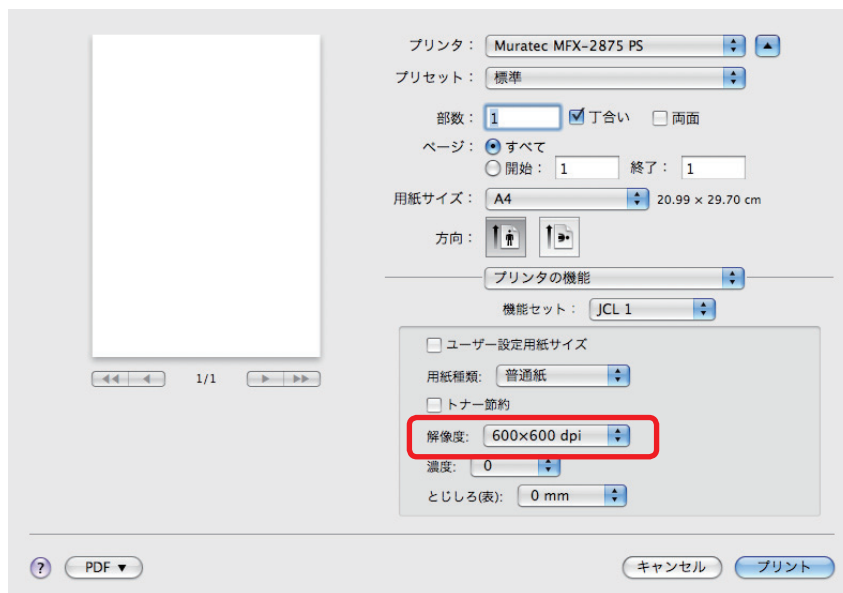


- 6 [プリント] をクリックします。

■ 解像度を変える

解像度 (600 × 600 dpi、300 × 300 dpi) を変更してプリントできます。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「プリンタの機能」を選択します。
- 4 「機能セット」で「JCL1」を選択します。
- 5 「解像度」からプリントする解像度を選択します。

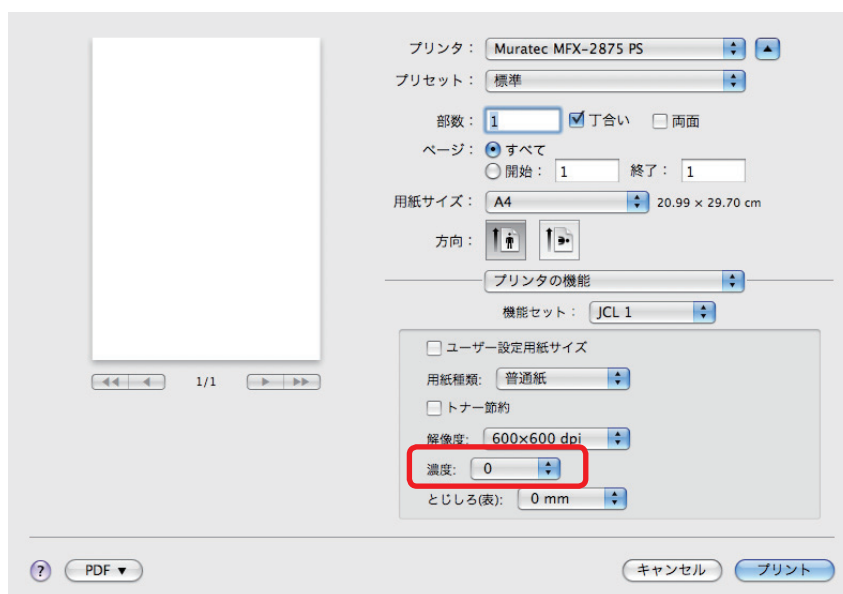


- 6 [プリント] をクリックします。

■ 印刷濃度を変える

プリント結果の濃度レベルを調整できます。
濃さ、薄さともに 50 段階で調整できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「プリンタの機能」を選択します。
- 4 「機能セット」で「JCL1」を選択します。
- 5 「濃度」から濃度レベルを選択します。

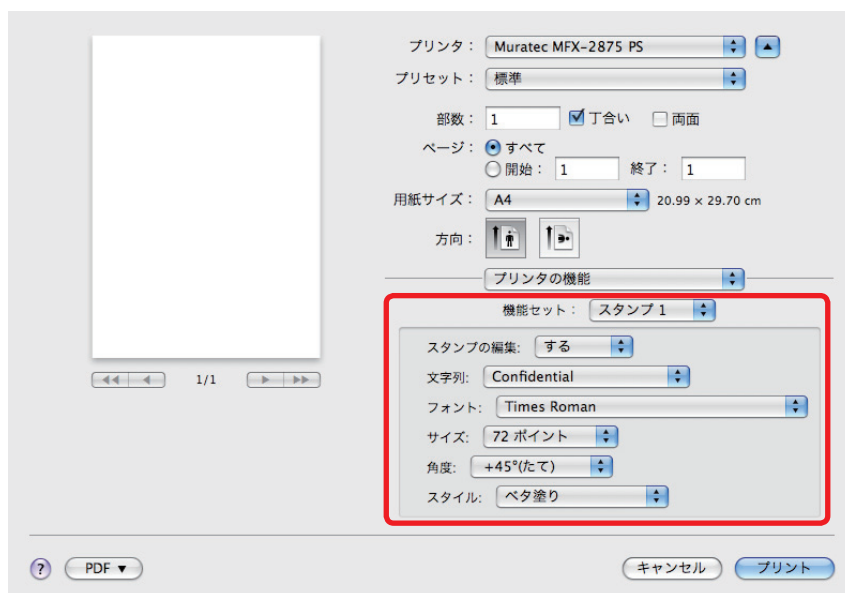


- 6 [プリント] をクリックします。

スタンプをプリントする

アプリケーションソフトウェアで作成したプリントデータにスタンプ（背面にプリントされる文字）を重ねてプリントできます。

- 1 アプリケーションソフトウェアの「ファイル」メニューから「プリント」を選択します。
- 2 「プリンタ」で使用するドライバーを選択します。
- 3 「プリンタの機能」を選択します。
- 4 「機能セット」で「スタンプ 1」を選択します。
- 5 「スタンプの編集」で「する」を選択します。
- 6 文字列やフォントなどの設定をします。



シェーディングや印刷するページを設定するときには、「機能セット」で「スタンプ 2」を選択してから設定します。

- 7 [プリント] をクリックします。

第 4 章

操作パネルで操作する

いろいろなプリントのしかた.....	4-2
他人に見られないようにプリントする (セキュリティープリント).....	4-2
Information server に保存したデータをプリントする (プリント Is ドキュメント) ..	4-3
共有フォルダーのデータをプリントする (プリントオンデマンド).....	4-5
USB メモリーの文書をプリントする (USB メモリー to プrint)	4-7
データの自動削除時間を設定する	4-9
プリンターコントローラーの設定をする.....	4-11
プリンターコントローラーの設定をする	4-11
プリンターコントローラー設定一覧.....	4-12

いろいろなプリントのしかた

操作パネルを使って、次のようなプリント機能が利用できます。

- セキュリティープリント
- プリント Is ドキュメント
- プリント オンデマンド
- プリント to USB メモリー

他人に見られないようにプリントする（セキュリティープリント）

セキュリティープリントとは、プリント指示するときに認証ユーザーを選択し、機器側でユーザー認証を行うことで、自分がプリント指示した文書だけをプリントする機能です。機密文書などを第三者に見られる危険性を減らせます。

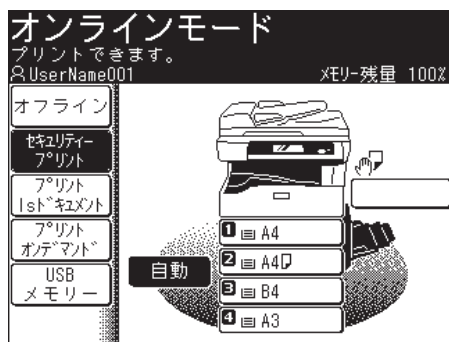
ここでは、蓄積されたプリントデータをプリントする方法について説明します。機器にプリントデータを蓄積する方法については、下記のページを参照してください。

- Windows 環境の場合（→ 2-27 ページ）
- Macintosh 環境の場合（→ 3-21 ページ）

補足

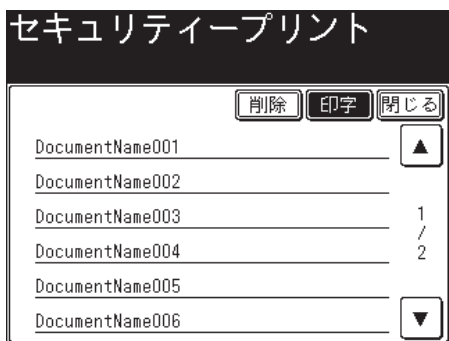
あらかじめ機器にログインしてください。ログインしていないときは、〈ログイン〉を押し、ログイン操作を行ってください。詳細は、『機器設定・管理編 第1章』の「ログインする・ログアウトする」を参照してください。

- 1 〈プリンター〉を押します。
- 2 [セキュリティープリント] を押します。



機器にログインしていないときは、[セキュリティープリント] を押すと「ログインしてください」と表示され、セキュリティープリントができません。機器にログインしてください。

3 [印字] を押します。



- [削除] を押すと、蓄積されているデータを削除できます。
- [閉じる] を押すと、手順 2 の画面に戻ります。

4 [はい] を押します。

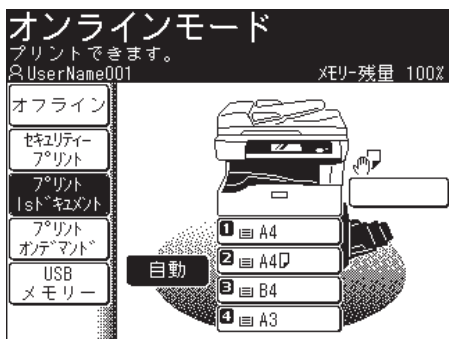
Information server に保存したデータをプリントする(プリント Is ドキュメント)

補足

- ユーザーボックス内の文書は、ログインしているときに表示できます。ログインのしかたは、『機器設定・管理編 第 1 章』の「ログインする・ログアウトする」を参照してください。
- プリントできる文書は、最大 20MB です。
- プリントできる白黒文書は、以下のとおりです。
 - ◆ 符号化方式が MH、MR、MMR、JBIG の文書
 - ◆ インターネットファクス送受信した TIFF 形式の文書
 - ◆ 弊社複合機でスキャンした TIFF 形式または PDF 形式の文書
- プリントできるカラー文書は、PDF 形式のみです。白黒でプリントされます。また、プリントにはオプションの PS3 拡張キットが必要です。

1 <プリンター> を押します。

2 [プリント Is ドキュメント] を押します。

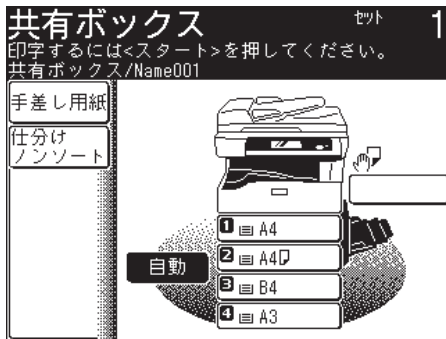


3 プリントしたい文書を選択し、[印字] を押します。



- [共有ボックス] を押すと共有ボックスの文書を、[ユーザーボックス] を押すとユーザーボックスの文書を表示できます。ユーザーボックス内の文書を表示するには、あらかじめログインが必要です。
- [i] を押すと、ファイル名、文書分類、文書の生成日時、文書の用紙サイズ、ページ数が確認できます。
- [削除] を押すと、選択した文書を削除できます。

4 必要に応じて、設定を変更します。



- 部数はテンキーで入力します。
- カセットを選択するか、[手差し用紙] を押して、プリントする用紙を選択します。
- プリントを仕分けするときは、[仕分け] を押して、仕分けの方法を選択します。

5 〈スタート〉を押します。

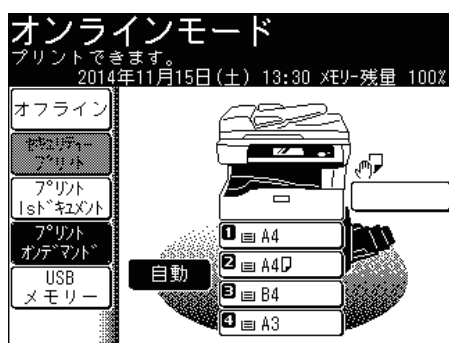
共有フォルダーのデータをプリントする (プリントオンデマンド)

ネットワーク上の共有フォルダーに保存されている文書をプリントできます。

補足

- プリントできる文書は、最大 20MB です。
- プリントできる白黒文書は、以下のとおりです。
 - ◆ 符号化方式が MH、MR、MMR、JBIG の文書
 - ◆ インターネットファクス送受信した TIFF 形式の文書
 - ◆ 弊社複合機でスキャンした TIFF 形式または PDF 形式の文書
- プリントできるカラー文書は、PDF 形式のみです。白黒でプリントされます。また、プリントにはオプションの PS3 拡張キットが必要です。

- 1 <プリンター> を押します。
- 2 [プリントオンデマンド] を押します。

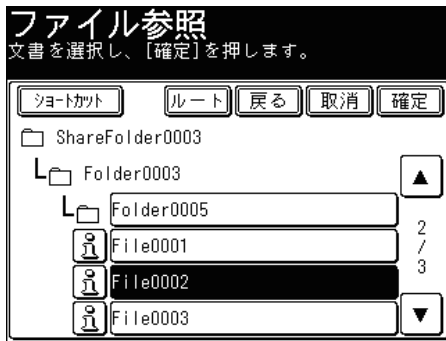


- 3 [参照] を押します。



- コンピューターまたはネットワークの一覧が表示されます。
- ショートカットが登録されているときは、ショートカットを選択して手順 4 に進みます。

4 ファイルを選択し、[確定] を押します。



- [i] を押すと、ファイル名、ファイルへのパス、ファイルサイズ、ファイルを更新した日付が確認できます。
- [ショートカット] を押すと、手順 3 の画面に戻ります。
- [ルート] をクリックすると、一番先頭の階層（ルート）に戻ります。
- [戻る] を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

5 必要に応じて、設定を変更します。

- 部数はテンキーで入力します。
- カセットを選択するか、[手差し用紙] を押して、プリントする用紙を選択します。
- プリントを仕分けするときは、[仕分け] を押して、仕分けの方法を選択します。
- 暗号化された PDF ファイルをプリントするときは、[パスワード] を押してパスワードを入力します。

6 〈スタート〉を押します。

USB メモリーの文書をプリントする (USB メモリー to プリント)

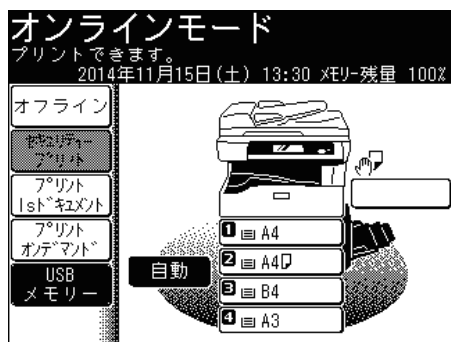
USB メモリーに保存されている文書をプリントできます。

補足

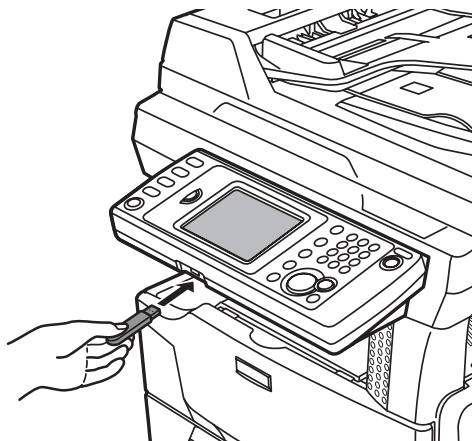
- プリントできる文書は、最大 20MB です。
- プリントできる白黒文書は、以下のとおりです。
 - ◆ 符号化方式が MH、MR、MMR、JBIG の文書
 - ◆ インターネットファクス送受信した TIFF 形式の文書
 - ◆ 弊社複合機でスキャンした TIFF 形式または PDF 形式の文書
- プリントできるカラー文書は、PDF 形式のみです。白黒でプリントされます。また、プリントにはオプションの PS3 拡張キットが必要です。
- FAT12 または FAT16、FAT32 でフォーマットした USB メモリーのみ使用できます。

1 <プリンター> を押します。

2 [USB メモリー] を押します。



3 USB メモリーを本体に接続します。



4 [参照] を押します。



5 プリントしたい文書を選択し、[確定] を押します。



- [i]を押すと、ファイル名、ファイルへのパス、ファイルサイズ、ファイルを更新した日付が確認できます。
- [ルート] をクリックすると、一番先頭の階層（ルート）に戻ります。
- [戻る] を押すと、1つ前の画面に戻ります。

6 必要に応じて、設定を変更します。

- 部数はテンキーで入力します。
- カセットを選択するか、[手差し用紙] を押して、プリントする用紙を選択します。
- プリントを仕分けするときは、[仕分け] を押して、仕分けの方法を選択します。
- 暗号化された PDF ファイルをプリントするときは、[パスワード] を押してパスワードを入力します。

7 <スタート> を押します。

8 画面に「プリント完了」と表示されたら、USB メモリーを取り外してください。

データの自動削除時間を設定する

セキュリティープリントをするときに、蓄積した文書を自動的に削除するまでの時間を設定できます。

自動削除までの時間は 1 ～ 24 時間の間で設定できます。

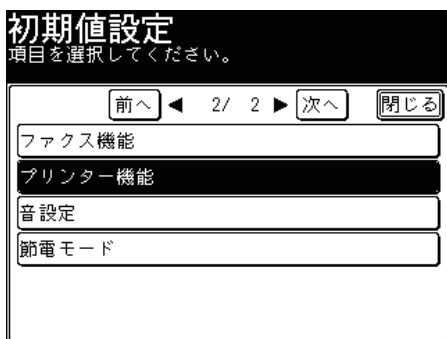
補足

Information server でも、セキュリティープリントの自動削除時間を設定することができます。詳細は『Information server 編 第 3 章』の「本体の初期値を設定する」を参照してください。

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [初期値設定] を押します。



- 3 [プリンター機能] を押します。



- 4 [セキュリティープリント自動削除] を押します。

- 5 [+] と [-]、またはテンキーを使って時間を入力し、[確定] を押します。

The screenshot shows a printer's menu screen titled "プリンター機能" (Printer Function). Below the title, it says "時間を入力して、[確定]を押してください。" (Enter the time and press [Confirm]). The screen displays the setting "セキュリティプリント自動削除" (Security Print Automatic Deletion) with a text box containing "24" and the unit "時間" (hours). To the right of the text box are two buttons: a plus sign (+) and a minus sign (-). At the top right of the screen are two buttons: "取消" (Cancel) and "確定" (Confirm). Below the text box, it says "入力範囲:01-24" (Input range: 01-24).

これで手順は終了です。

プリンターコントローラーの設定をする

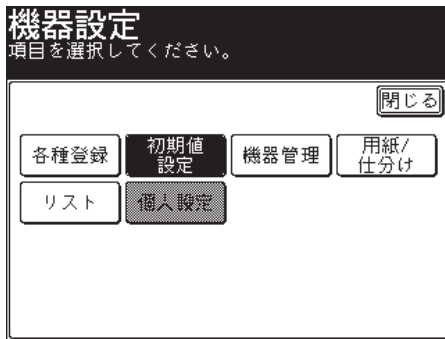
オプションのプリンターコントローラーキットを装着したときで、プリンタードライバーを使用しないでプリントする際にこの設定内容が反映されます。

補足

Information server でも、プリンターコントローラー設定ができます。詳細は『Information server 編 第3章』の「本体の初期値を設定する」を参照してください。

プリンターコントローラーの設定をする

- 1 〈機器設定〉を押します。
- 2 [初期値設定] を押します。



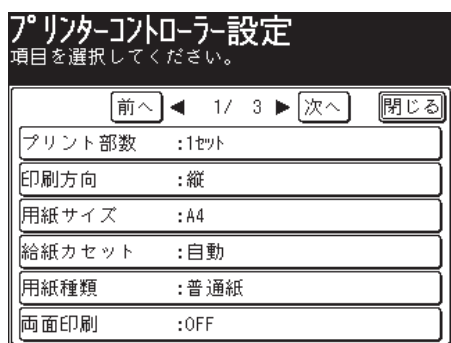
- 3 [プリンター機能] を押します。



4 [プリンターコントローラー設定] を押します。



5 それぞれの項目の設定を行います。



プリンターコントローラー設定一覧

機能	機能説明	設定値
プリント部数	プリントする部数を設定します。	1 ~ 999 : 1セット
印刷方向	プリント方向を設定します。	縦 横
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。	A3、A4、A5、B4、B5、はがき、長形4号、角形2号、往復はがき、8K (270mm×390mm)、16K (195mm×270mm)、Letter、Legal、11×17、H.LTR、Executive、F4、COM10、Monarch、DL
給紙カセット	使用するカセットを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> 補足 カセット3、4は、4段タイプの機器をご使用のときのみ表示されます。	自動 カセット1 カセット2 カセット3 カセット4 手差しトレイ
用紙種類	用紙種類を設定します。	普通紙 厚紙 OHP はがき 封筒

機能	機能説明	設定値
両面印刷	両面プリントを設定します。	OFF ON
とじ位置	プリントのとじ位置を設定します。	<u>長辺とじ</u> 短辺とじ
フォント	プリントする際のフォントを設定します。	Courier、CG Times、LetterGothic、CG Omega、Coronet、NwCentSchlbk、ITCAvantGard、Clarendon、Univers、AntiqOlive、Garamond、Marigold、Albertus、Arial、Symbol、TimesNewRmn、CourierPS、Helvetica、Palatino、ITCBookman、Times、 <u>Mincho</u> 、Gothic、Windings、ZapfChancery、ZapfDingbats、SymbolPS
シンボルセット	フォントのシンボルセットを設定します。	ISO 60、ISO 15、ISO L1、ISO 11、ISO 6、ISO 4、ISO 69、ISO 21、Legal、ISO L2、ISO 17、PS Math、ISO L5、Win L5、MS Publ、ISO L6、Desk Top、Math-8、Roman-8、Win L2、PC-1004、PC-8TK、Win 3.0、PS Text、PC-8、PC-8 D/N、MC Text、PC-850、ITC Zapf、PI Font、PC-852、 <u>Win 3.1j</u> 、Win 3.1 Balt、Symbol、Win L1、PC-775、Windings、PC-Cyrillic、PC-Ukrainian、ISO L/Cyr、Win L/Cyr
フォントピッチ	フォントの幅を設定します。	0.44 ~ 99.99 : <u>10.00 pitch</u>
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。	4.00 ~ 999.75 : <u>12.00 point</u>
解像度	解像度を設定します。	300 dpi <u>600 dpi</u>
タイムアウト時間	データを受信しなくなってから、強制プリントするまでの時間を設定します。	1 ~ 65535 : <u>300 秒</u>
CR/LF 機能	CR/LF を受信したときの動作を設定します。 (PCL5 のみ有効)	<u>CR のみ /LF のみ</u> CR+LF/LF のみ CR のみ /LF+CR CR+LF/LF+CR
1 ページ行数	1 ページにプリントできる行数を設定します。 (PCL5 のみ有効)	<u>自動</u> 手動

 補足

__の付いている値が、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値です。

(空白ページ)

第5章

こんなときには

困ったときには	5-2
インストールできない	5-2
プリントできない	5-3
ドライバーまたはユーティリティーを削除する	5-5
Windows の場合	5-5
Mac の場合	5-6

困ったときには

故障かなと思ったときにお読みください。ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合は、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターまでご連絡ください。

インストールできない

発生状況	チェック項目	処 置
インストールできない	手順どおりにインストールしていますか？	取扱説明書の手順にてインストールしてください。 Windows 環境にインストールする (→ 1-6 ページ) Mac OS X にインストールする (→ 1-18 ページ)
	制限ユーザー (User 権限) でログインしていませんか？	Administrator 権限 (または管理者権限) を持つユーザーアカウントでログインしてから、インストール作業をしてください。 (→ 1-6 ページ)
	コンピューターに問題はありませんか？ • Windows が不安定になっていませんか？ • CD-ROM ドライブは正しく動作していますか？	コンピューターを再起動してから再度インストールをお試しください。 CD-ROM ドライブの動作を確認してください。
	セットアップディスクに異常はありませんか？	Windows のエクスプローラーで、セットアップディスクが読めるか確認してください。 セットアップディスクに異常がある場合はインフォメーションセンターにお問い合わせください。
	使用できる環境にインストールしましたか？	対応 OS の一覧表をご確認ください (→ 1-2 ページ)
	セキュリティソフトやポート監視ソフト (ポートモニター) が動作していませんか？	セキュリティソフトおよびポート監視ソフト (ポートモニター) 類は、終了してからインストールの作業を行ってください。
	ドライバーまたはユーティリティが、すでにインストールされていませんか？	「ディスク 1 を挿入してください」と表示されているときは、[キャンセル] をクリックしてください。その後、インストールできないドライバーまたはユーティリティを、コンピューターから削除して再度インストールしてください。(→ 5-5 ページ)

最新ドライバーの入手方法

お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
弊社ホームページからダウンロードしていただくこともできます。
弊社ホームページでは、製品情報やドライバーの更新情報などを掲載しています。
<http://www.muratec.jp/ce/>

プリントできない

発生状況	チェック項目	処 置
プリントできない	ネットワークの使用環境は確認しましたか？	『機器設定・管理編 第4章』の「ネットワークに接続できない」に従って、確認してください。
	用紙はセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。詳細は、『基本編 はじめに』の「用紙をセットする」を参照してください。
	トナーはなくなっていますか？またドラムカートリッジは寿命がきていませんか？	本製品の画面を確認してメッセージが出れば、トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換してください。
	コンピューターのシステムメモリーは不足していますか？	コンピューターのメモリー容量が Information server の動作環境を満たしているかどうか、確認してください。満たしていない場合は、メモリーを増設してください。複数のアプリケーションや不要な常駐ソフトが起動している場合は、終了させてください。
	プリンタードライバーはインストールされていますか？	取扱説明書の手順にてインストールしてください。 Windows 環境にインストールする (→ 1-6 ページ) Mac OS X にインストールする (→ 1-18 ページ)
	正しいプリンターが選択されていますか？	アプリケーションのプリントメニューで、正しいプリンターを選択してください。
	プリントポートは正しいですか？	プリンターのプロパティ画面で、プリント先ポートが正しいかどうか確認してください。ローカルプリンターの場合は、USBxxx (xxx はポート番号)、ネットワークプリンターの場合は、本体に設定した IP アドレスと同じアドレスの lpr ポートが選択されているか確認してください。印刷先ポートが違っている場合は、正しいポートに変更してください。
	正しいプリンタードライバーがインストールされていますか？	先にネットワークプリンタードライバーをコンピューターにインストールした後、プラグアンドプレイでドライバーをインストールした場合、正しいプリンタードライバーがインストールされない場合があります。正しいドライバーがインストールされなかった場合は、プリンターの追加ウィザードでインストールし直してください。プリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールするときは、欄外の補足を参照してドライバーを指定してください。(→ 5-4 ページ) 正しくインストールされなかったプリンタードライバーは削除してください。プリンターアイコンを右クリックして、「削除」または「デバイスの削除」を選択します。

発生状況	チェック項目	処 置
プリントできない	標準 TCP/IP ポートの設定は「Row」になっていませんか？	Windows を使用している場合は、以下の手順で対処できます。 1. プリンターのプロパティ画面を開きます。 2. 「ポート」タブをクリックします。 3. 「ポートの構成」ボタンをクリックし、「標準 TCP/IP ポート モニターの構成」画面を表示させます。 4. 「プロトコル」で、「LPR」を選択します。 5. 「LPR 設定」にある、「LPR バイトカウントを有効にする」のチェックボックスをオンにします。
	ユーザー認証は設定されていますか？	アーカイブ拡張キット導入時など、機器の設定によっては、プリンタードライバーでユーザー認証が設定されていないとプリントできないことがあります。この場合は、ユーザー認証を設定してください。(→ 2-12 ページ)
正しくプリントできない	アプリケーションで設定した記録紙サイズや用紙の向きなどが優先されていませんか？	プリンターの設定によってはアプリケーションソフトの設定が優先される場合があります。アプリケーションソフト側を正しく設定してください。
	プリントに必要なメモリーが本製品に不足していませんか？	複数部数プリントしたい場合は、まず 1 部プリントできるかどうか確認してください。画像の解像度を低く設定してください。または、画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
PDF ダイレクトプリントで正しくプリントできない	PDF ファイルにフォントが埋め込まれていますか？	オプションの PDF ダイレクトプリント用 増設 CF メモリーを装着してください。

補足

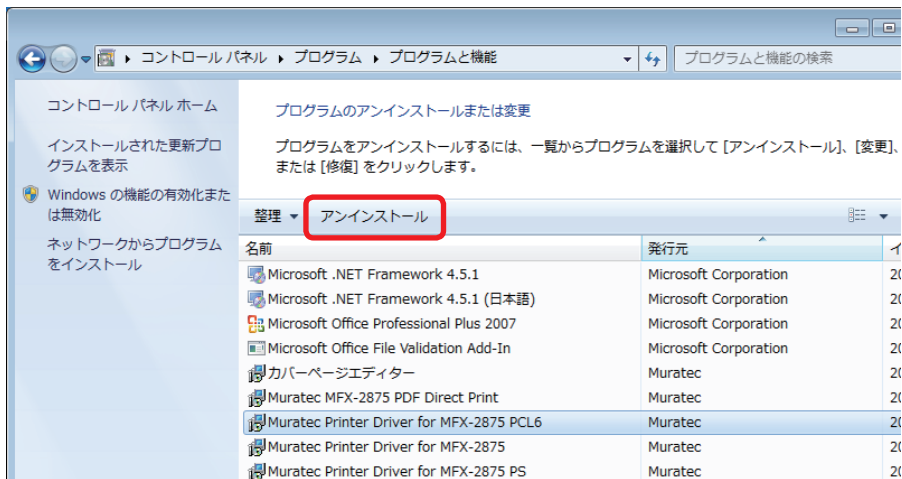
- GDI driver の場合：
¥Package¥JPN¥M2875¥GDI¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver
- PCL 5e driver の場合：
¥Package¥JPN¥M2875¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥5e¥WindowsDriver
- PCL 6 driver の場合：
¥Package¥JPN¥M2875¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥6¥WindowsDriver
- PostScript 3 driver の場合：
¥Package¥JPN¥M2875¥PS3¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver

ドライバーまたはユーティリティを削除する

Windows の場合

ここでは、Windows 7 にインストールしたドライバーまたはユーティリティの削除のしかたを説明します。OS のバージョンによっては若干手順が異なります。画面の指示に従って、削除してください。

- 1 [スタート]メニューから「コントロールパネル」を選択します。
- 2 [プログラム]、[プログラムのアンインストール] の順にクリックします。
この手順は、コントロールパネルの表示方法が「カテゴリ」に設定されているときの手順です。「カテゴリ」以外に設定されているときは、「プログラムと機能」をクリックしてください。
- 3 削除したいドライバーまたはユーティリティを選択し、[アンインストール] をクリックします。

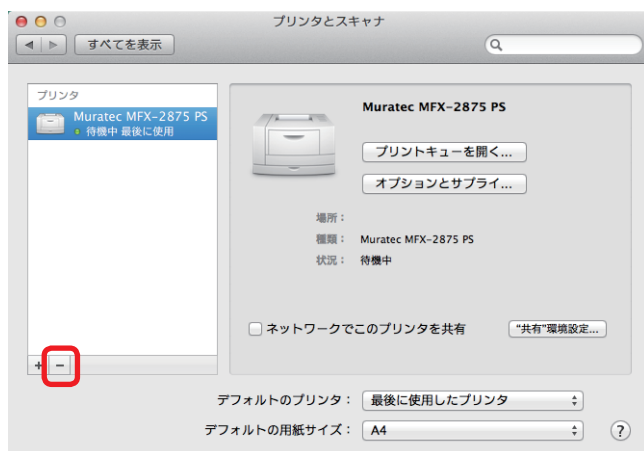


- 4 [はい] をクリックします。
画面の指示があるときは、コンピューターを再起動してください。

Mac の場合

ここでは、Mac 10.9 にインストールしたドライバーの削除のしかたを説明します。OS のバージョンによっては若干手順が異なります。画面の指示に従って、削除してください。

- 1 メニューから「システム環境設定」を選択します。
- 2 「プリントとファクス」をクリックします。
- 3 削除したいプリンターを選択し、[-] をクリックします。



補足

セットアップディスクから、「uninstall_M2875」（10.2、10.3、10.4 の場合は、「uninstall_M2875.command」）のファイルをダブルクリックすると、「Muratec MFX-2875 PS.pkg」からインストールしたファイルを削除できます。

削除するときは、セットアップディスクから該当する OS のバージョン名のフォルダーを開き、続けて「uninstall_M2875」（10.2、10.3、10.4 の場合は、「uninstall_M2875.command」）をダブルクリックします。

お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日は休ませていただきます。）

平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日は休ませていただきます。）

平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

ホームページ <http://www.muratec.jp/ce/>

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。